IPSiO NX860e/NX760/NX660S

セットアップガイド

はじめにお読みください

はじめに

本体の設置

オプションを取り付ける

G1188500A_1.00　JA G118-8500A

接続

インターフェース設定

プリンタードライバーのインストール

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警 告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注 意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は、“分解禁止”を表します)

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します)

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 警 告

- アース接続してください。アースが接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、設置工事を電気工事業者に相談してください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れると火災や感電の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

- 機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。
- この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーカートリッジは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーカートリッジは、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理をされる場合は、一般のプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 注 意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

- 機械は約18.5kgあります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央部分にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。

- ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナー（使用済みトナーを含む）が手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- 紙づまりの処置やトナーを補給するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

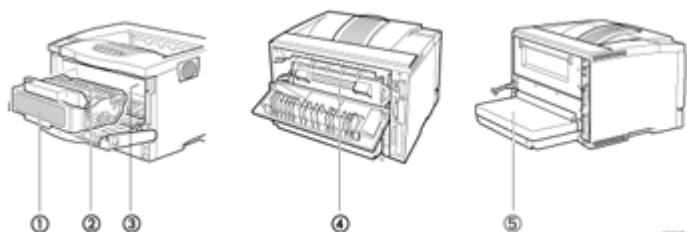
- オプションの取り付け、取り外しは、プリンターの電源スイッチが切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

- 定着ユニットは高温になります。定着ユニットの交換はプリンター本体の電源を切ってから約1時間待ち、定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

- 電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

⚠警告、⚠注意のラベルまたは刻印の位置について

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、⚠警告、⚠注意のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。

①トナーの操作注意

トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

②トナーの火中投棄警告

③定着ユニットの高温注意（トナーカートリッジと定着ユニットの間にある遮蔽版に貼られています）

④定着ユニットの高温注意

⑤アース接続の警告

エネルギースター

再生紙

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者にご相談ください。

使用説明書について

本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

❖ セットアップガイド（本書）

本機に同梱されています。

プリンターを箱から取り出し、パソコンと接続、プリンタードライバーをインストールするまでの手順を説明しています。オプションを購入された方は、本書の「オプションを取り付ける」をあわせてお読みください。

❖ メンテナンスガイド

本機に同梱されています。

＜メンテナンスガイド＞には、用紙に関する情報や消耗品の交換手順、印刷がはじまらないとき・思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置など、本機を使用する上で重要な情報がまとめられています。必要に応じてご活用ください。

❖ ソフトウェアガイド

付属の CD-ROM に、Web ブラウザでお読みいただく HTML 形式の電子マニュアルが収録されています。

＜ソフトウェアガイド＞では、プリンタードライバーのインストール手順や設定方法を説明しています。使用しているパソコンに対応する部分をお読みください。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

警 告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

注 意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作をすると、紙づまり、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

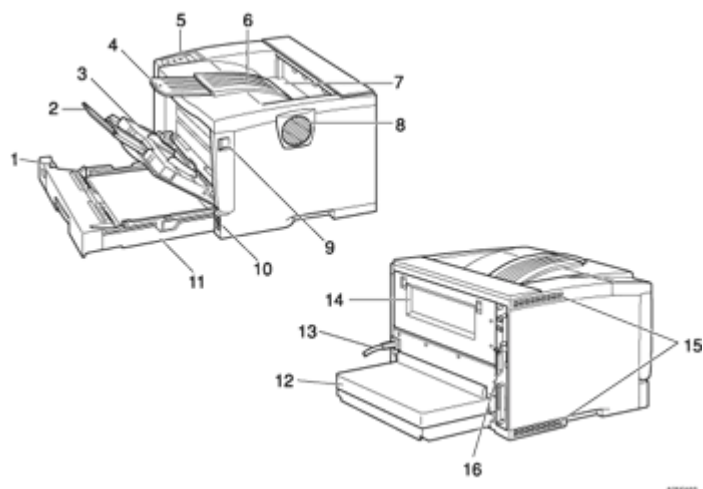
[　]

画面のキーの名称を示します。

【　】

操作部（画面を除く）のキーの名称を示します。

各部の名称とはたらき

全体

1. **用紙サイズダイヤル**

給紙トレイにセットした用紙のサイズと方向に合わせます。

2. **延長手差しトレイ**

A4▯より長い用紙を手差しトレイ（マルチ）にセットするときに延ばします。

3. **手差しトレイ（マルチ）**

普通紙の他に、厚紙、OHPフィルムや不定形サイズの用紙などに印刷するときに使用します。普通紙で最大100枚までセットできます。

4. **延長排紙トレイ**

長い用紙に印刷するときに、印刷された用紙が落下しないように引き出します。

5. **操作部**

キーを使用してプリンターを操作したり、ディスプレイで動作状態を確認します。

6. **排紙トレイ**

印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

7. **排紙口カバー**

紙づまりの処置をするときに開けます。

8. **排気口**

機械内部の温度上昇を防ぐために空気が排出されます。排気の向きは変えることができます。物を立て掛けたりして排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

9. **前カバーオープンボタン**

ボタンを押すとロックが外れ、前カバーが開きます。

10. **電源スイッチ**

プリンターの電源をOn/Offします。

11. **本体給紙トレイ［トレイ1］**

用紙をセットします。普通紙で最大250枚までセットできます。

補足

- ❒ 操作部やプリンタードライバーの画面では［トレイ1］として表示されます。
- ❒ オプションの500枚増設トレイユニットのトレイは［トレイ2］、［トレイ3］として表示されます（2段増設時）。

12. **給紙トレイカバー**

給紙トレイの延長トレイを引き出しているときに取り付けます。

13. **電源ケーブル**

先端の電源プラグをコンセントに差し込みます。

14. **後ろカバー**

定着ユニットを取り外すときや、両面印刷ユニットを取り付ける場合に、取り外します。

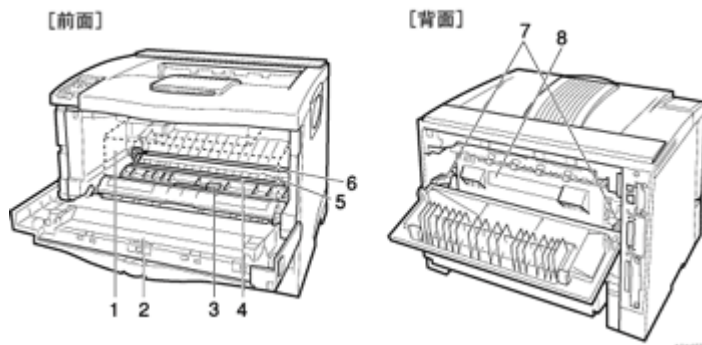
15. **給気口**

機械内部の温度上昇を防ぐための空気の取り入れ口です。物を立て掛けたりして給気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。

16. **コントローラーボード**

SDRAMモジュールや拡張エミュレーションモジュールなどを取り付けるときに引き抜きます。

パラレルインターフェースケーブルや USB ケーブル、イーサネットケーブル（IPSiO NX860e/NX760は標準対応）などを各コネクターに接続します。

内部

1. **トナーカートリッジ**

トナーと感光体が一体化しているカートリッジです。トナー交換のメッセージが表示されたら交換します。（トナーカートリッジは点線で表示されています。）

2. **前カバー**

トナーカートリッジやメンテナンス部品の交換、紙づまりの処置をするときに開けます。

3. **ガイド板**
   紙づまりの処置をするときに開けます。

4. **レジストローラー**
   用紙を送るための金属製のローラーです。トナーカートリッジを交換するときなどに周辺の紙粉を清掃します。

5. **転写ローラーカバー**
   転写ローラーを交換するときに開けます。

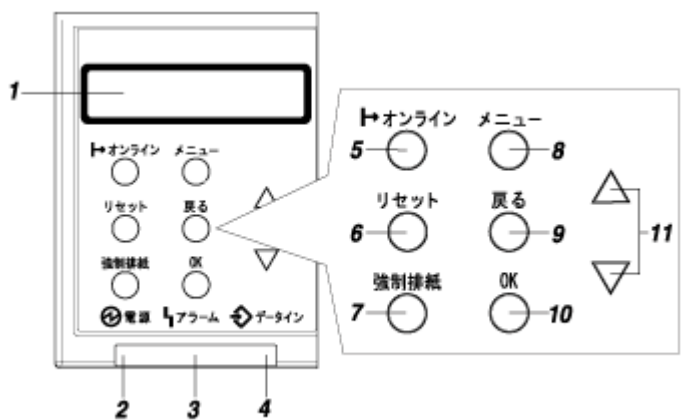
6. **転写ローラー**
   「メンテキットコウカン」というメッセージが表示されたら交換します。

7. **定着ユニット固定レバー**
   定着ユニットを取り外すときに、左右のレバーを上げます。

8. **定着ユニット**
   トナーを用紙に定着させるためのユニットです。「メンテキットコウカン」というメッセージが表示されたら交換します。

補足

❒ 転写ローラーおよび定着ユニットはメンテナンスキットに含まれます。メンテナンスキット交換の際は、サービス実施店に連絡をして、交換を依頼してください。

操作部

1. **ディスプレイ**
   プリンターの状態やエラーメッセージが表示されます。

   補足

   ❒ 省エネモードに移行すると、バックライトが消灯します。

2. **電源ランプ**
   電源が入ってるときに点灯します。ただし、省エネモードになっているときは消灯します。

3. **アラームランプ**

エラーが発生しているときに点灯します。ディスプレイでエラーの内容を確認して対処してください。

4. **データインランプ**

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

5. **オンラインランプ/【オンライン】キー**

プリンターが「オンライン状態」か「オフライン状態」かを示し、キーを押すことでオンラインとオフラインを切り替えることができます。

オンライン状態はパソコンからのデータを受信できる状態でランプは点灯します。

オフライン状態はパソコンからデータを受信できない状態でランプは消灯します。

各種の設定中に【オンライン】キーを押すと、通常の画面に戻ります。

6. **【リセット】キー**

印刷中または受信中のデータを取り消すときに使用します。

7. **【強制排紙】キー**

オフライン状態のときはプリンター内に残っているデータを強制的に印刷します。

オンライン状態のときに送られたデータの用紙サイズや用紙種類が、実際にセットされている用紙サイズや用紙種類と合わなかった場合に、強制的に印刷することができます。

8. **【メニュー】キー**

操作部で行うプリンターに関するすべての設定は、このボタンを押してメニュー内部で行います。

9. **【戻る】キー**

設定を有効にせずに上位の階層に戻るとき、メニューから通常の表示に戻るときに使用します。

10. **【OK】キー**

設定や設定値を確定させるとき、または下位の階層に移動するときに使用します。

11. **【▲】、【▼】キー**

表示画面をスクロールさせるとき、設定値を増減させるときに使用します。キーを押しつづけると、表示が早くスクロールしたり、あるいは数値が10倍の単位で増減します。

設置環境、電源・アースを確認する

⚠ 警告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠ 警告

- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。

⚠ 警告

- 本機の背面に表示の電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

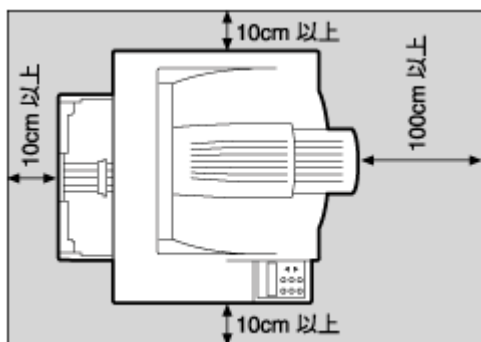
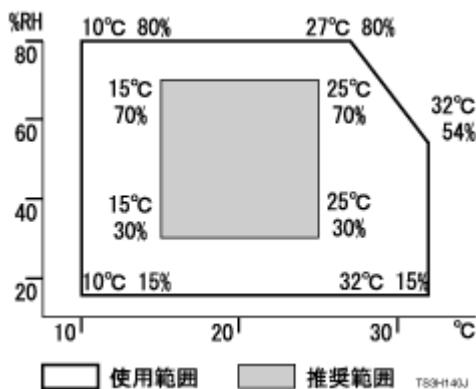
⚠ 注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

設置環境を確認する

設置環境については、次のことを守ってください。

- 本機は、水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。

- 用紙の補給、消耗品の交換、紙づまりの処置などをスムーズに行うために、本機の周辺に目安として図のようなスペースを確保してください。

- 温度や湿度が以下の使用範囲に収まる場所に設置してご使用ください。

- 設置する台の水平度：前後左右5mm以下
- 故障の原因になりますので、次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光の当たる所
  - エアコンや暖房機などの温風・ふくしゃ熱が直接当たる所
  - 通気性、換気の悪い所。また、ほこりの多い所
  - ラジオ、テレビ、その他のエレクトロニクス機器に近い所
  - 加湿器に近い所

電源・アースを確認する

本機の電源については、次のことを守ってください。

- 100V、9.7A以上、50/60Hzの電源をご使用ください。
- 本機のアース端子は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。
  - コンセントのアース端子
  - 接地工事（D種）を行っているアース線

同梱品を確認して、プリンターを取り出す

1 同梱品が揃っていることを確認します。

不足品や不具合があった場合は、本機を購入された販売店までご連絡ください。

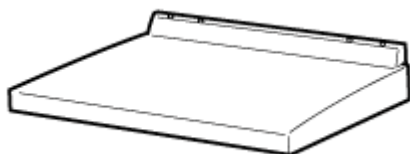
❖ 使用説明書、CD-ROM

☑セットアップガイド（本書）

☐メンテナンスガイド

☐CD-ROM「プリンタードライバー＆ユーティリティー /使用説明書」1枚

❖ 部品

☐給紙トレイカバー

AGN100S

補足

❒ インターフェースケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。インターフェースケーブルについては、<メンテナンスガイド>「付録」を参照してください。

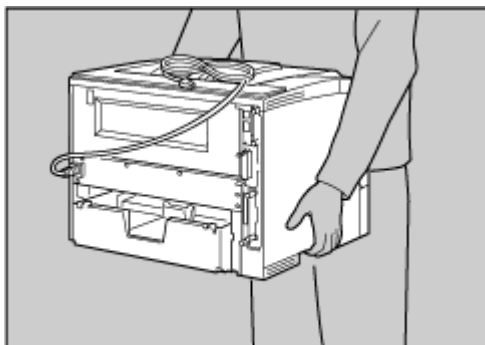
❖ その他

☐お客様登録はがき、（仮）保証書

☐リコー製品サービス窓口一覧

☐マイバンク＆QA登録票

☐IPSiOコールセンターシール

2 両サイド下部の取っ手を持ち、プリンター本体を取り出します。

ZKGH221E

3 プリンター本体を梱包しているオレンジ色のテープを取り除きます。

トナーカートリッジをセットする

⚠ 警 告

- トナー（使用済みトナーを含む)、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

⚠ 警 告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注 意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠ 注 意

- トナー（使用済みトナーを含む）が手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

⚠ 注 意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠ 注 意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠ 注 意

- 紙づまりの処置やトナーを補給するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠ 注 意

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

★ 重要

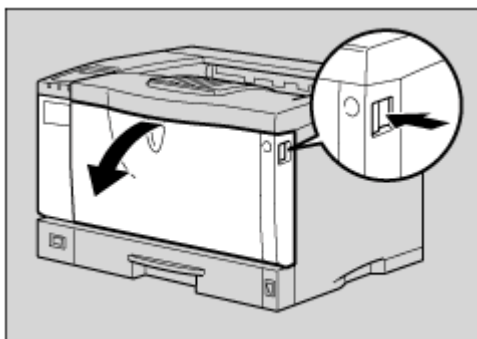
❒ 前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。トナーカートリッジは、長時間光に当てると性能が低下します。トナーカートリッジの交換はすみやかに行ってください。

補足

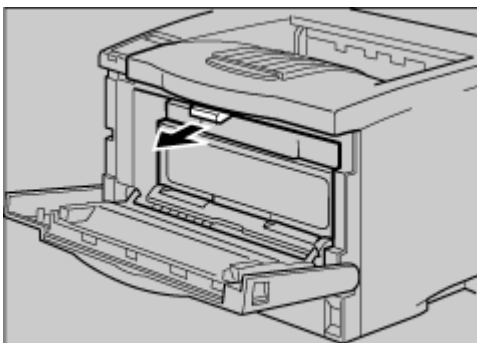
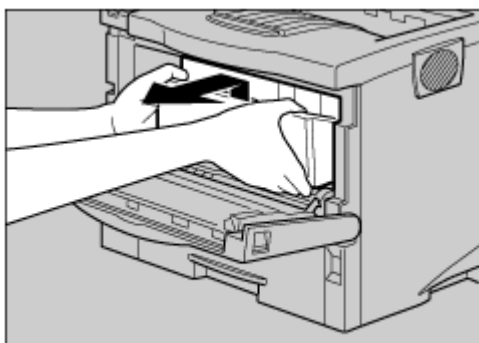
❒ トナーカートリッジを斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。

❒ 交換用トナーカートリッジの印刷可能ページ数は、目安としてタイプ720Aが約6,000ページ、タイプ720Bが約15,000ページです。この印刷可能ページ数はA4▭5%チャートを連続して印刷した場合の目安で、実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。トナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、上記ページ数より早く交換が必要になる場合があります。

❒ トナーカートリッジ（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店までご連絡ください。

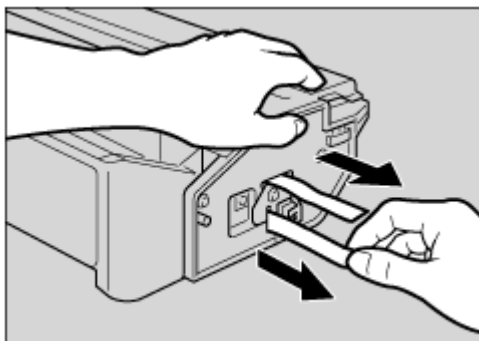
1 前カバーオープンボタンを押して前カバーを開けます。

ZCEH120J

2 プリンター本体とトナーカートリッジの間の固定材を取り除きます。

AGN073S

3 トナーカートリッジの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

AGN022S

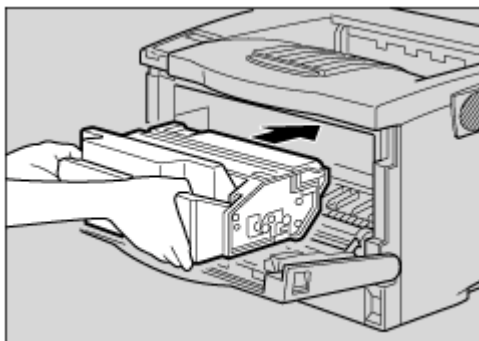
補足

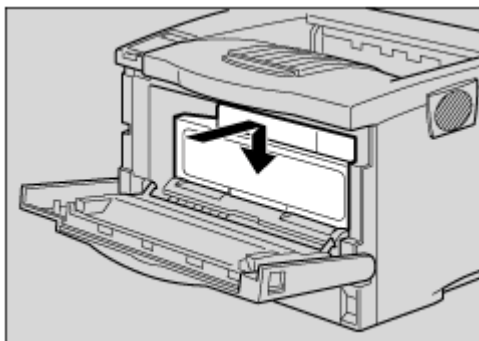
- ❒ トナーカートリッジを置くときは、机などの平らで突起物のない場所を選んでくださ い。
- ❒ トナーカートリッジを斜めに立て掛けたり逆さまにしないでください。

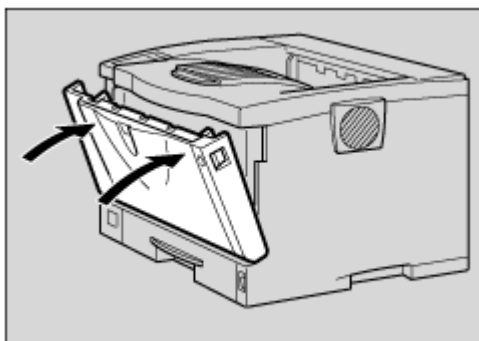
4 トナーカートリッジを水平な場所に置き、片手を添えながらトナーシール２本を水平に引き抜きます。

ZCET161J

重要

- ❒ トナーシールを引き抜かないで使用すると故障の原因になります。必ずトナーシールを引き抜いてから使用してください。
- ❒ トナーシールは必ず水平に引き抜いてください。上方向や下方向に引き抜くと、トナーがこぼれやすくなる原因になります。
- ❒ 手や衣服を汚さないように注意してください。
- ❒ トナーシールを引き抜いたあとは、トナーがこぼれやすくなっています。トナーカートリッジを振ったり衝撃を与えたりしないでください。

5 トナーカートリッジの取っ手を持ち、プリンター内部に押し込みます。

AGN064S

6 奥に突き当たったところで、トナーカートリッジを押し下げます。

AGN066S

7 前カバーを閉めます。

ZGDH130J

重要

- ❒ トナーカートリッジが奥まで正しくセットされていないと、前カバーが閉まりません。そのときはトナーカートリッジを一度取り出し、セットし直してください。

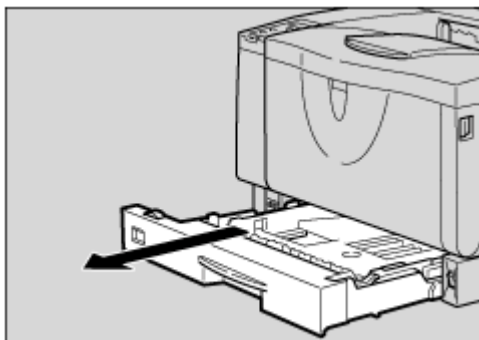
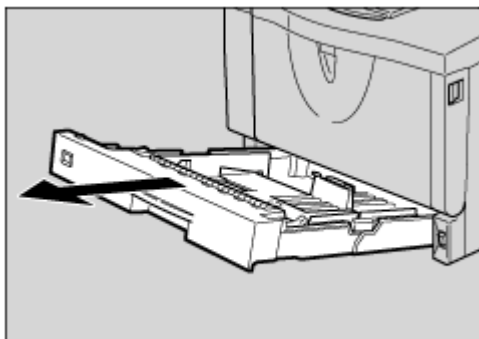
補足

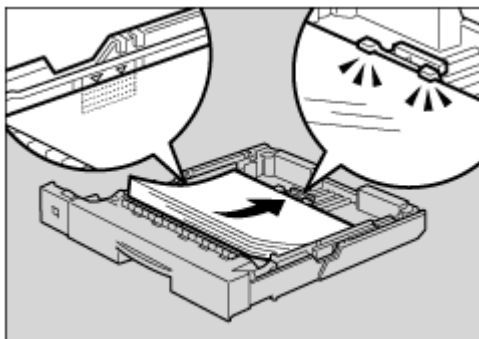
- ❒ 取り外した固定材およびトナーシールは、一般のプラスチック廃棄物と同様の処理をしてください。

- ❒ ご使用後のトナーカートリッジは、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動のご協力ください。なお、お客様で処理をされる場合は、一般のプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

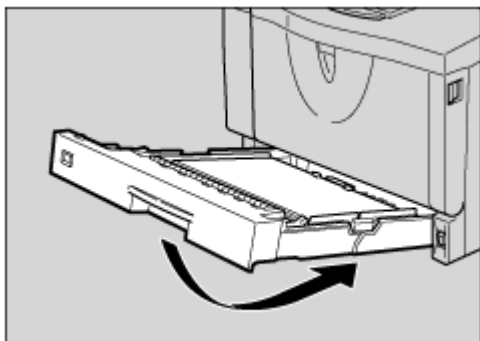
用紙をセットする

1 給紙トレイを止まるまで引き出します。

AGN070S

2 前面を持ち上げて引き抜きます。

ZCEY140J

3 印刷する面を下にして用紙をセットします。

ZCEY130J

- ❒ 用紙は、用紙ガイドの▼マークや爪の下に収まる量をセットしてください。

4 前面を持ち上げるようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。

ZCEY150J

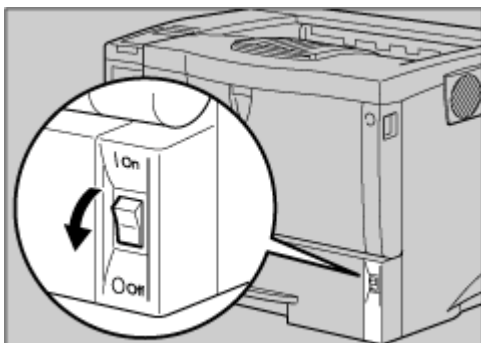
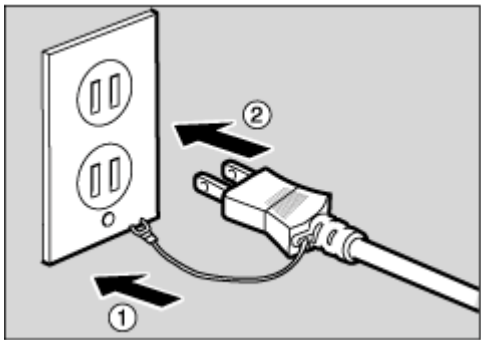
★ 重要

❒ トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

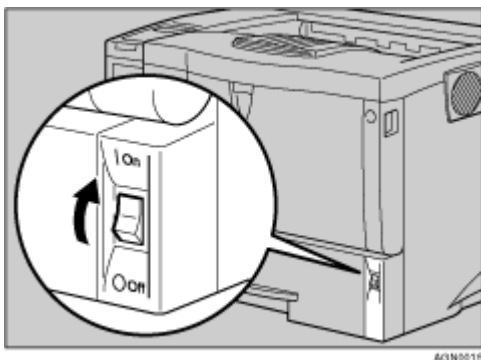
電源を入れる

⚠ 警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

1 電源が「〇 Off」側になっていることを確認します。

2 アース線を接続し（①）、次に電源プラグをコンセントに差し込みます（②）。

★ 重要

- ❒ 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- ❒ 電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、プリンターの電源スイッチを切ってから行ってください。

3 電源スイッチを「❙ On」側にします。

初期設定中に電源を切らないでください。

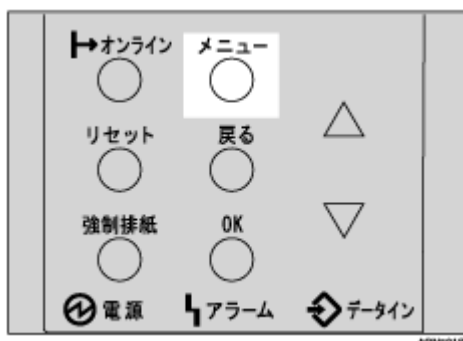
補足

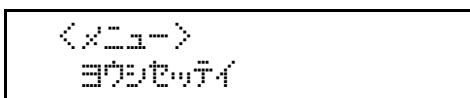
❒ 電源を切るときは、印刷中や印刷データの受信中でないことを確認してください。印刷中はデータインランプが点灯し、印刷データの受信中は点滅します。

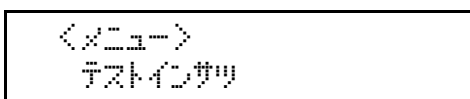
テスト印刷する

プリンターが正常に印刷できることを確認するために、テスト印刷を行います。テスト印刷はプリンター本体の動作確認です。パソコンとの接続テストではありません。

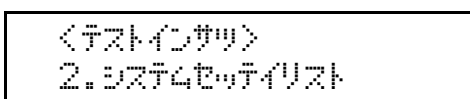
ここではシステム設定リストの印刷を例に説明します。

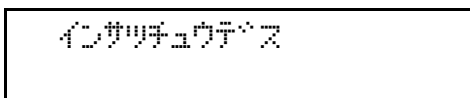
1 【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

<メニュー>
ヨウシセッテイ

2 【▲】または【▼】キーを押し、「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
テストインサツ

テスト印刷の選択画面が表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押し、「システムセッテイリスト」を表示させ、【OK】キーを押します。

<テストインサツ>
2.システムセッテイリスト

次の画面が表示され、システム設定リストが印刷されます。

インサツチュウデス

補足

❒ 正常に印刷できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。表示されている場合は、<メンテナンスガイド>「困ったときには」を参照して、エラーの対処をしてください。

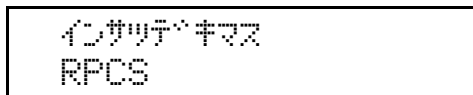
4 オプション構成を確認します。

補足

❒ システム設定リストの詳細については、<ソフトウェアガイド>「システム設定リストの見かた」を参照してください。

5 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

```
インサツデキマス
RPCS
```

オプションの構成

⚠ 注 意

- オプションの取り付け、取り外しは、プリンターの電源スイッチが切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

オプションを取り付けるとプリンターの性能をさらに高め、機能を拡張することができます。各オプションについて、詳しくは<メンテナンスガイド>「関連商品一覧」を参照してください。

オプションリスト

	IPSiO NX860e	IPSiO NX760	IPSiO NX660S
250枚増設トレイユニット	○	○	○
500枚増設トレイユニット	○	○	○
両面印刷ユニット	○	○	○
SDRAMモジュール	○	○	○
拡張イーサネットボード	−	−	○
拡張無線LANボード	○	○	○
拡張1394ボード	○	○	○
ワイヤレスインターフェースボード	○	○	○
拡張HDD	○	○	○
拡張エミュレーションカード	○	−	−
拡張エミュレーションモジュール	−	○	○
暗号化カード	○	−	−

○：オプション取り付け可能

−：オプション未対応

オプション取り付けの流れ

本機に複数のオプションを取り付ける場合は、以下の順に取り付けることをおすすめします。

1 500枚増設トレイユニット、250枚増設トレイユニットを取り付ける。

給紙トレイとして本機の底部に取り付けます。最大2段まで取り付けることができます。500枚増設トレイユニットと250枚増設トレイユニットを組み合わせて取り付けることもできます。

500枚増設トレイユニットを2段取り付けた場合、最大1,350枚の用紙を同時にセットできます。

2 SDRAMモジュールを取り付ける。

コントローラーボード内のSDRAMモジュール用スロットに取り付けます。

3 拡張1394ボード、拡張無線LANボード、ワイヤレスインターフェースボード、拡張イーサネットボードを取り付ける。

コントローラーボードのスロットに拡張インターフェースボードを取り付けます。同時に複数の拡張インターフェースボードを取り付けることはできません。

- IPSiO NX860e/NX760の場合
  拡張1394ボード、拡張無線LANボード、ワイヤレスインターフェースボードを取り付けることができます。

  補足

  - ❒ IPSiO NX760の場合、拡張1394ボード、ワイヤレスインターフェースボードを使用するには、SDRAMモジュールを増設する必要があります。

- IPSiO NX660Sの場合
  拡張イーサネットボード、拡張無線LANボードを取り付けることができます。

  補足

  - ❒ 拡張イーサネットボード、拡張 1394 ボード、拡張無線 LAN ボード、ワイヤレスインターフェースボードは、どれか１つのみ取り付けることが可能です。
  - ❒ 拡張1394ボード、ワイヤレスインターフェースボードを使用するには、SDRAMモジュールを増設する必要があります。

4 拡張エミュレーションモジュール、または拡張エミュレーションカードを取り付ける。

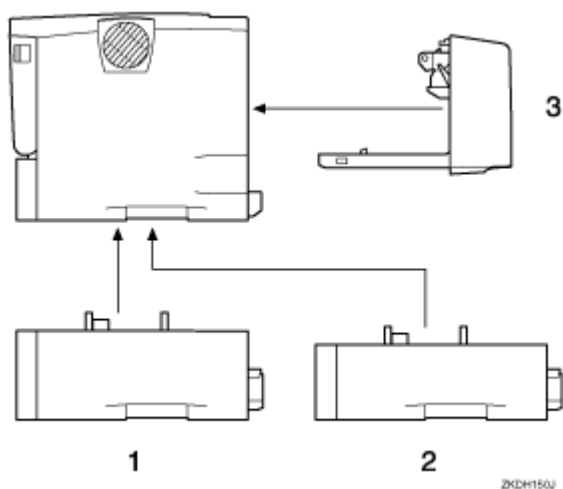
- IPSiO NX860eの場合
  コントローラーボードの下の方のスロットに、目的に合わせて5種類の拡張エミュレーションカードの中から1枚を差し込みます。
- IPSiO NX760/NX660Sの場合
  コントローラーボード内の拡張エミュレーションモジュール用スロットに、目的に合わせて3種類の中から1枚取り付けます。

5 両面印刷ユニットを取り付ける。

本機の後ろカバーを取り外して取り付けます。

オプションの取り付け

オプションを取り付ける位置は以下のとおりです。

❖ 外部

1. **500枚増設トレイユニット**

P.34 「500枚増設トレイユニット、250枚増設トレイユニットを取り付ける」

2. **250枚増設トレイユニット**

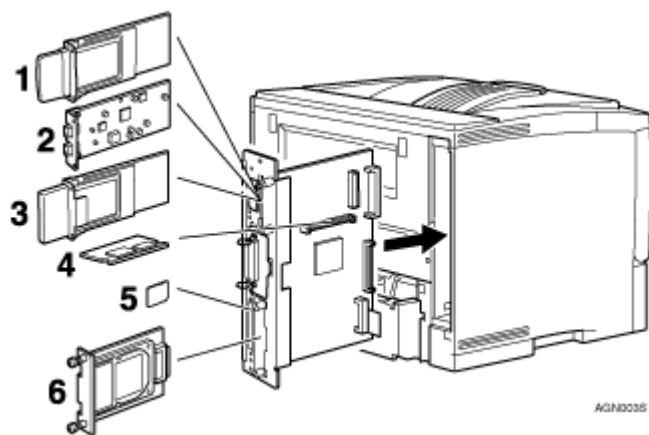
P.34 「500枚増設トレイユニット、250枚増設トレイユニットを取り付ける」

3. **両面印刷ユニット**

P.76 「両面印刷ユニットを取り付ける」

補足

❒ 500枚増設トレイユニットおよび250枚増設トレイユニットの給紙トレイを［トレイ２（または３）］と呼びます。

❖ IPSiO NX860e：内部

1. **拡張無線LANボード**

P.53 「拡張無線LANボードを取り付ける」

2. **拡張**1394**ボード**

P.47 「拡張1394ボードを取り付ける」

3. **ワイヤレスインターフェースボード**

P.60 「ワイヤレスインターフェースボードを取り付ける」

4. SDRAM**モジュール**

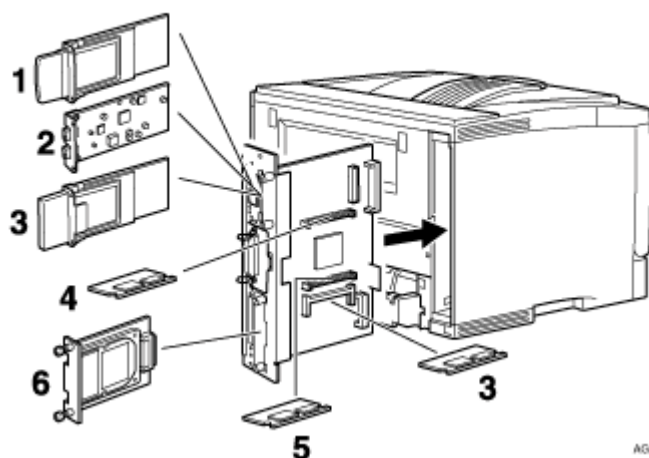
P.37 「SDRAMモジュールを取り付ける」

5. **拡張エミュレーションカード、暗号化カード**

P.74 「拡張エミュレーションカード、暗号化カードを取り付ける」

6. **拡張**HDD

P.68 「拡張HDDを取り付ける」

❖ IPSiO NX760：**内部**

1. **拡張無線**LAN**ボード**

P.53 「拡張無線LANボードを取り付ける」

2. **拡張**1394**ボード**

P.47 「拡張1394ボードを取り付ける」

3. **ワイヤレスインターフェースボード、**Bluetooth**モジュール**

P.60 「ワイヤレスインターフェースボードを取り付ける」

4. SDRAM**モジュール**

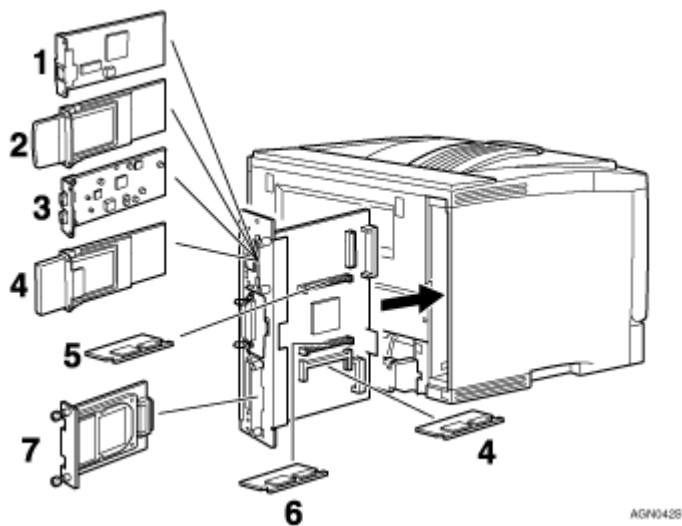
P.37 「SDRAMモジュールを取り付ける」

5. **拡張エミュレーションモジュール**

P.70 「拡張エミュレーションモジュールを取り付ける」

6. **拡張**HDD

P.68 「拡張HDDを取り付ける」

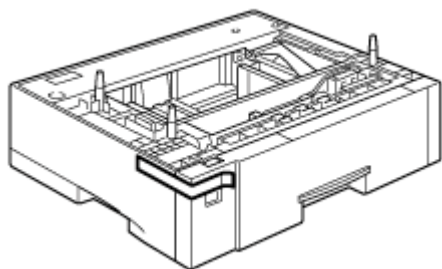
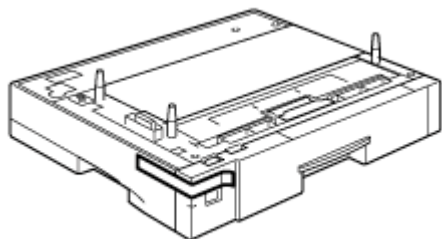
❖ IPSiO NX660S：内部

1. **拡張イーサネットボード**
   P.42 「拡張イーサネットボードを取り付ける」
2. **拡張無線**LAN**ボード**
   P.53 「拡張無線LANボードを取り付ける」
3. **拡張**1394**ボード**
   P.47 「拡張1394ボードを取り付ける」
4. **ワイヤレスインターフェースボード、**Bluetooth**モジュール**
   P.60 「ワイヤレスインターフェースボードを取り付ける」
5. SDRAM**モジュール**
   P.37 「SDRAMモジュールを取り付ける」
6. **拡張エミュレーションモジュール**
   P.70 「拡張エミュレーションモジュールを取り付ける」
7. **拡張**HDD
   P.68 「拡張HDDを取り付ける」

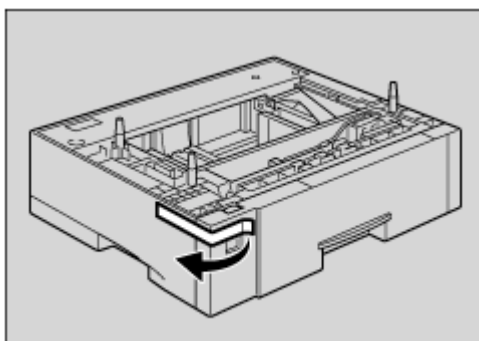
500枚増設トレイユニット、250枚増設トレイユニットを取り付ける

⚠ 注 意

- プリンター本体は約18.5kgあります。
- 機械を移動させるときは、両側面の中央下部にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

1 同梱品を確認します。

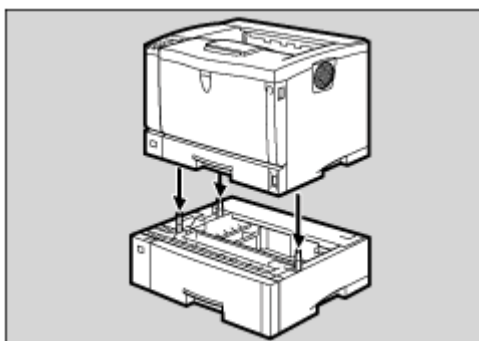
❖ 500枚増設ユニット（給紙トレイ含む）

❖ 250枚増設ユニット（給紙トレイ含む）

2 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 固定用のテープを取り外します。

ZCEX390J

補足

- ❒ ここでは500枚増設トレイで説明しています。250枚増設トレイの場合、イラストが一部異なることがあります。

4 500枚増設トレイユニットまたは250枚増設トレイを２段取り付けるときは、あらかじめ増設トレイ同士を積み重ねておきます。

5 左右の取っ手をつかんで本機を持ち上げます。本機と500枚増設トレイユニットまたは250枚増設トレイの前面を合わせるようにして、500枚増設トレイユニットまたは250枚増設トレイの上に本機を静かに載せます。

ZGDX400J

補足

- ❒ 500枚増設トレイユニットまたは250枚増設トレイを１段のみ取り付ける場合は、次の手順へ進んでください。

6 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

7 「システム設定リスト」を印刷して、500枚増設トレイユニットまたは250枚増設トレイが正しく取り付けられたか確認します。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.27 「テスト印刷する」を参照してください。

補足

- ❒ 500枚増設トレイユニットまたは250枚増設トレイが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認できます。500枚増設トレイユニットまたは250枚増設トレイが正しく取り付けられているとき、「オプション機器」の欄に「増設給紙トレイ２」と記載されます（２段増設時には「増設給紙トレイ２、増設給紙トレイ３」と記載されます）。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- ❒ 印刷位置がずれたときは、＜メンテナンスガイド＞「印刷位置を調整する」を参照してください。

SDRAMモジュールを取り付ける

重要

- ❒ SDRAMモジュールに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ SDRAMモジュールに物理的衝撃を与えないでください。
- ❒ 取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。

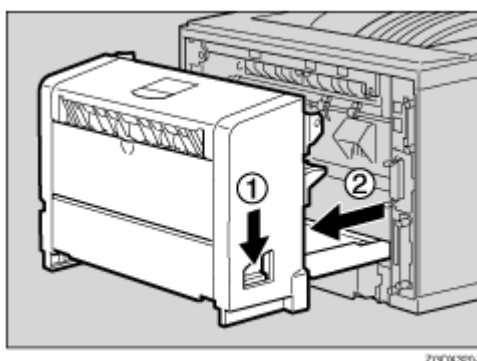
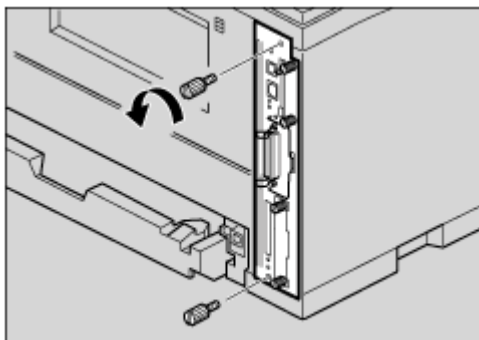
補足

- ❒ モデルによって搭載できるメモリー容量が異なります。
  - IPSiO NX860eの場合
    IPSiO NX860eには128MバイトのSDRAMモジュールが標準で搭載されています。増設する場合は、256MバイトのSDRAMモジュールに差し替えてください。取り付けたSDRAMモジュールの容量が搭載メモリーになります。
  - IPSiO NX760/NX660Sの場合
    IPSiO NX760/NX660Sでは空いているスロットに、SDRAMモジュールを取り付けてください。64、128、256Mバイトの３タイプのSDRAMモジュールを使用できます。

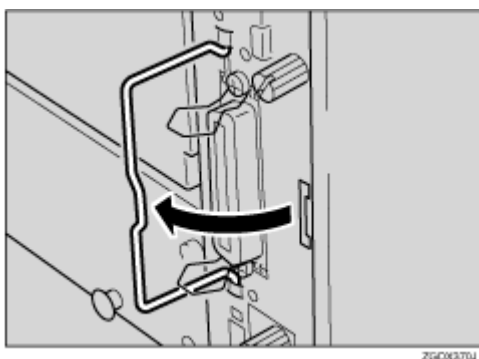
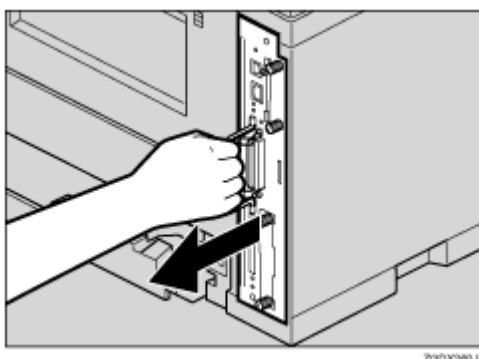
標準	増設	合計値
32MB	64MB	96MB
	128MB	160MB
	256MB	288MB

1 本機の電源を切ります。

2 両面印刷ユニットを取り付けている場合は、両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ(①)、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します(②)。

補足

- ❒ オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、次の手順へ進んでください。

3 コントローラーボードを固定しているねじ２本を取り外します。

補足

- ❒ ねじが外しにくい場合はコインなどを使って取り外します。

取り外したねじは後の手順でコントローラーボードを固定するときに使用します。

ZGDX280J

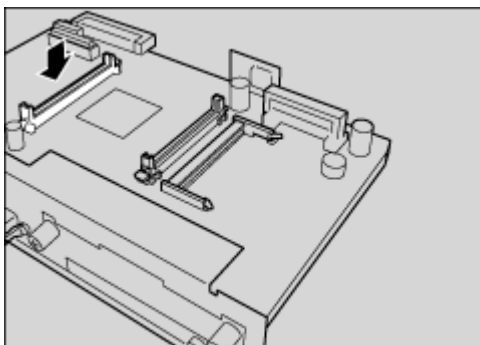
4 コントローラーボードの取っ手を起こします。

ZGDX370J

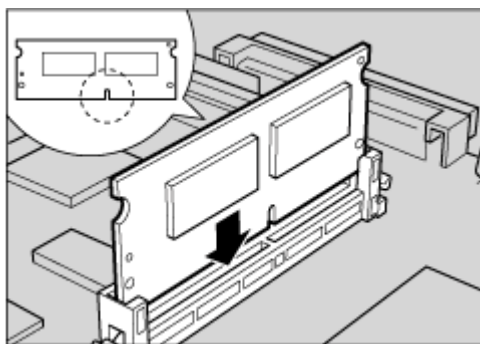
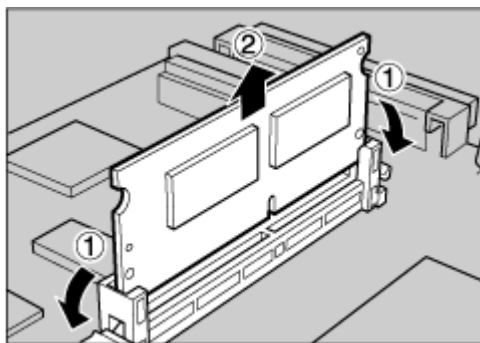
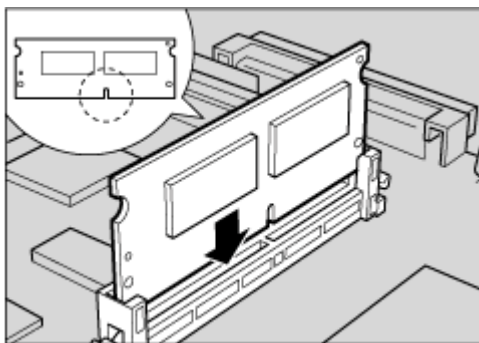
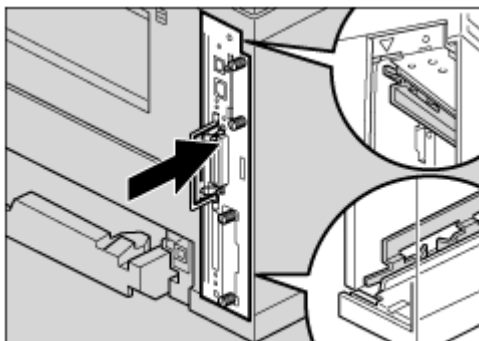
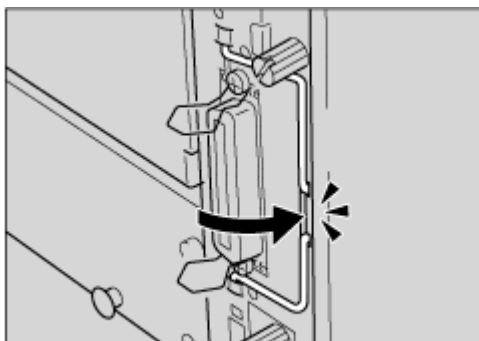
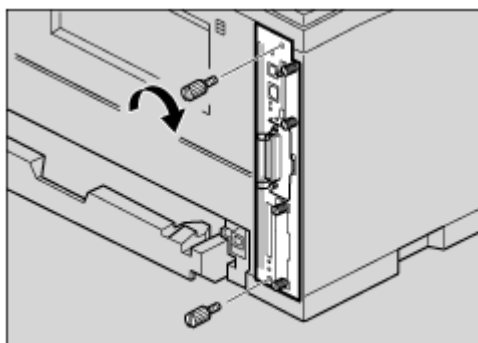
5 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

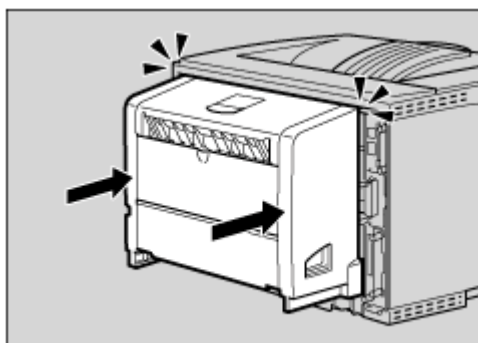
ZGDX260J

6 コントローラーボードを机などの平らな場所に置きます。

7 SDRAMモジュールは以下のイラストに示したスロットに設置します。

補足

- ❒ イラストは、例としてIPSiO NX760のコントローラーボードを示しています。
- ❒ IPSiO NX860eでは128MバイトのSDRAMモジュールを標準装備しています。

8 IPSiO NX760/NX660Sでは、空いているスロットにSDRAMモジュールを取り付けます。SDRAM モジュールの切り欠きを差し込み口の凸部に合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。

9 IPSiO NX860eでは、標準装備のSDRAMモジュールを取り外します。差し込み口横のボタンを押し下げて、SDRAMモジュールを引き抜きます。

増設するSDRAMモジュールを取り付けます。SDRAMモジュールの切り欠きを差し込み口の凸部に合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。

10 コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。上部のレールは▽マークを目印にします。

11 コントローラーボードの取っ手をカチッと音がする位置まで押し込みます。

12 ねじを２本締め、コントローラーボードを固定します。

ZGDX270J

13 両面印刷ユニットをしっかりと本機に押し込みます。

ZGDX240J

補足

❒ オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、次の手順へ進んでください。

14 本機の電源を入れます。

15 「システム設定リスト」を印刷して、SDRAMモジュールが正しく取り付けられたか確認します。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.27 「テスト印刷する」を参照してください。

補足

❒ SDRAMモジュールが正しく取り付けられたかどうかは「システム構成情報」の項目で確認できます。SDRAMモジュールが正しく取り付けられているとき、IPSiO NX860eの場合は、取り付けたSDRAMモジュールの容量が「搭載メモリ」になります。IPSiO NX760/660Sの場合は、「搭載メモリ」の値が標準で装備されているメモリーと増設した SDRAM メモリーの容量の合計値になります。詳しくは冒頭の「補足」を参照してください。

❒ 正しく取り付けられていない場合は、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

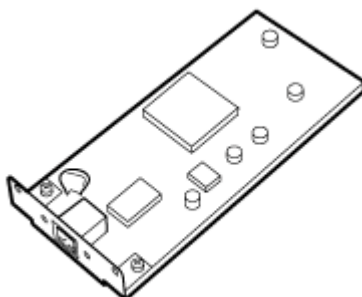
拡張イーサネットボードを取り付ける

このオプションの対応機種はIPSiO NX660Sです。

重要

- ❒ 拡張イーサネットボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ 拡張イーサネットボードに物理的衝撃を与えないでください。
- ❒ 取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。

1 同梱品を確認します。

❖ 拡張イーサネットボード

ZKDX290J

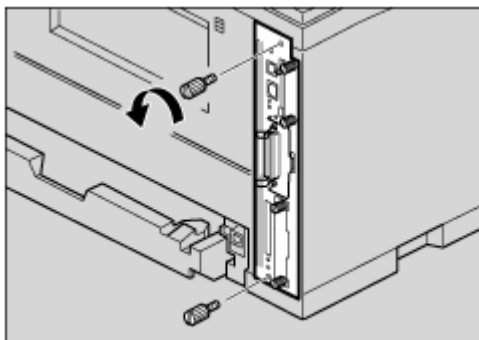
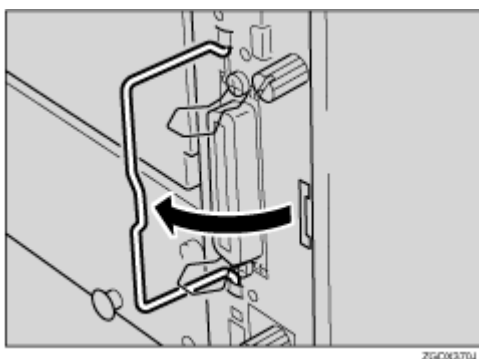
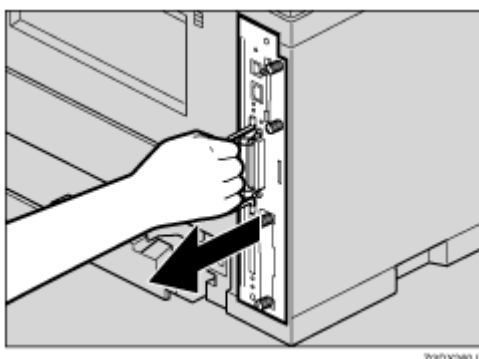
❖ フェライトコア

ZKDX300J

2 本機の電源を切ります。

3 コントローラーボードを固定しているねじ２本を取り外します。

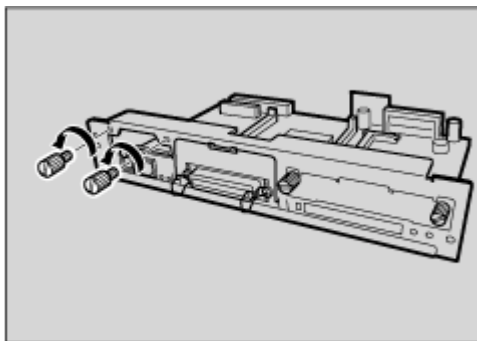
- ❒ ねじが外しにくい場合はコインなどを使って取り外します。

取り外したねじは後で再びコントローラーボードを固定するときに使用します。

4 コントローラーボードの取っ手を起こします。

5 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

6 コントローラーボードを机などの平らな場所におきます。

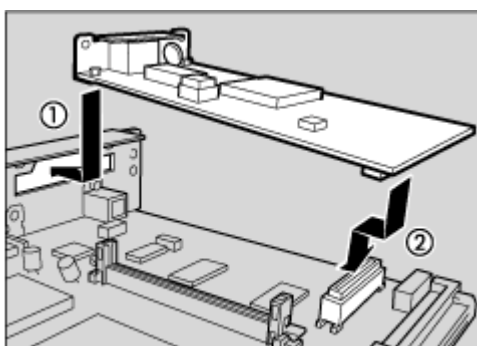
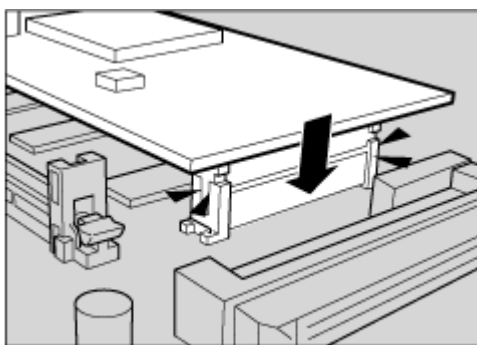
7 ねじ２本を外し、拡張イーサネットボード取り付け部のカバーを取り外します。

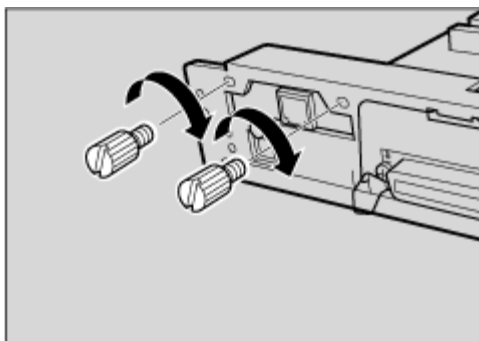
補足

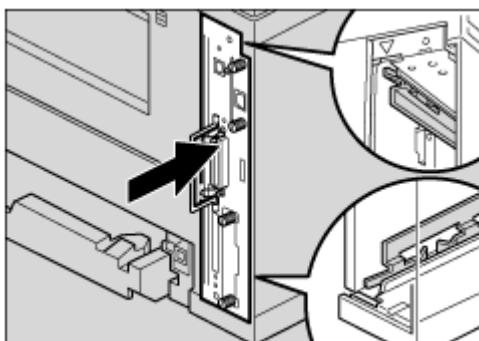
- ❒ 取り外したねじは後で拡張イーサネットボードを固定するときに使用します。

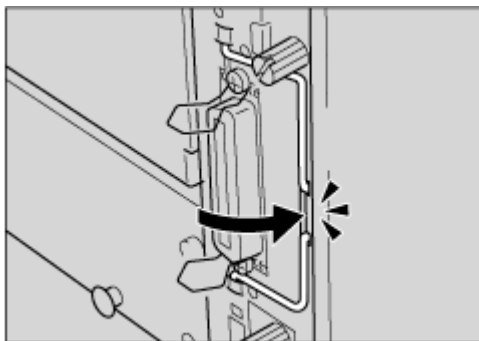
❒ 取り外したカバーは使用しません。

ZJEX040J

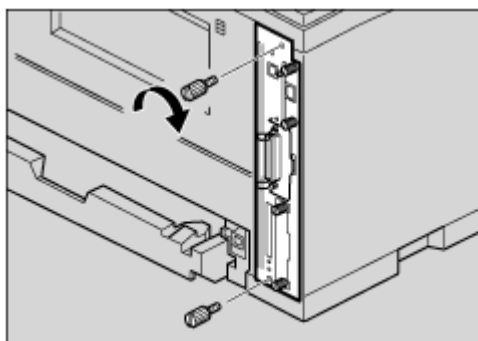
8 拡張イーサネットボードとコントローラーボードのコネクターを図の順序で接続します。

ZKDX422J

ZKDX432J

9 ねじ２本を締め、拡張イーサネットボードを固定します。

ZKDX444J

10 コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。上部のレールは▽マークを目印にします。

ZKDX254J

11 コントローラーボードの取っ手をカチッと音がする位置まで押し込みます。

ZGDX380J

12 ねじ２本を締め、コントローラーボードを固定します。

13 本機の電源を入れます。

14 「システム設定リスト」を印刷して、拡張イーサネットボードが正しく取り付けられたことを確認します。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.27 「テスト印刷する」を参照してください。

補足

- 拡張イーサネットボードが正しく取り付けられたかどうかは、「システム構成情報」の項目で確認できます。拡張イーサネットボードが正しく取り付けられているとき、「コントローラオプション」の欄に「オプションイーサネットボード」と記載されます。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 拡張イーサネットボードをお使いになる前に、本機の操作部から設定する必要があります。詳しくは、P.84 「イーサネットを使用する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般の金属廃棄物と同様に処理してください。

拡張1394ボードを取り付ける

★ 重要

- ❒ 拡張1394ボードを使用した接続には、IP over 1394とSCSI printがあります。使用できるWindowsと接続方法の関係は次のとおりです。Windows 95/98およびWindows NT 4.0ではIEEE 1394を使用できません。
  - Windows Me
    IP over 1394で接続できます。
  - Windows 2000
    SCSI printで接続できます。
  - Windows XP、Windows Server 2003
    IP over 1394およびSCSI printのどちらでも接続できます。
- ❒ Windows 2000では、Service Pack 1以降でのみ拡張1394ボードを使用できます。また、管理者権限のあるアカウントがないと、クライアントはプリンタードライバーをインストールできません。
- ❒ 拡張1394ボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ 拡張1394ボードに物理的衝撃を与えないでください。
- ❒ インターフェースケーブルを接続したままコントローラーボードを取り外すと、拡張1394ボードが破損する恐れがあります。取り付ける前にケーブルをプリンターから抜いてください。
- ❒ インターフェースケーブルは、拡張1394ボードに同梱のケーブルをご使用ください。
- ❒ プリンタードライバーのインストール中は、インターフェースケーブルを接続したり抜いたりしないでください。

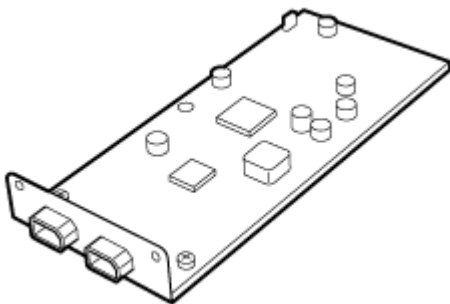
! 制限

- ❒ IPSiO NX760/NX660Sで拡張1394ボードを使用するには、SDRAMモジュールを増設する必要があります。詳しくは、P.37 「SDRAMモジュールを取り付ける」を参照してください。

↓ 補足

- ❒ 詳しくは拡張1394ボードに同梱の説明書を参照してください。

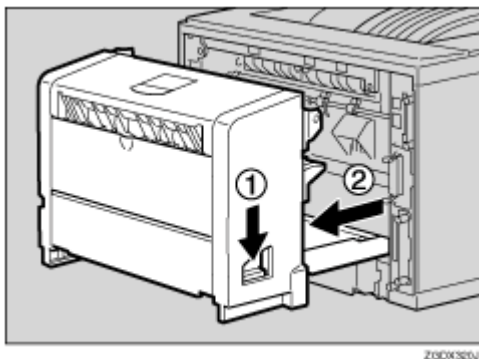
1 同梱品を確認します。

❖ **拡張1394ボード**

❖ **インターフェイスケーブル（6ピン×6ピン）**

❖ **インターフェイスケーブル（6ピン×4ピン）**

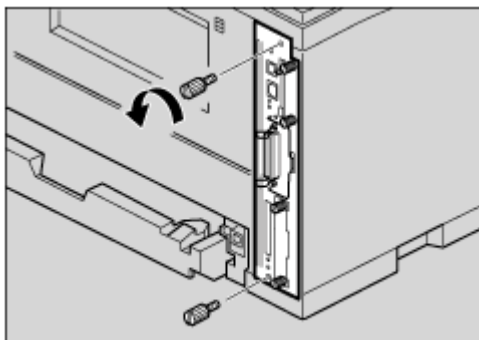
2 **本機の電源を切ります。**

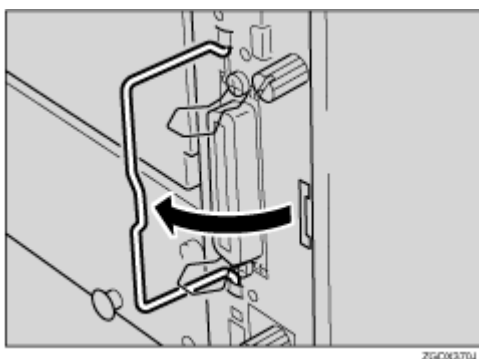
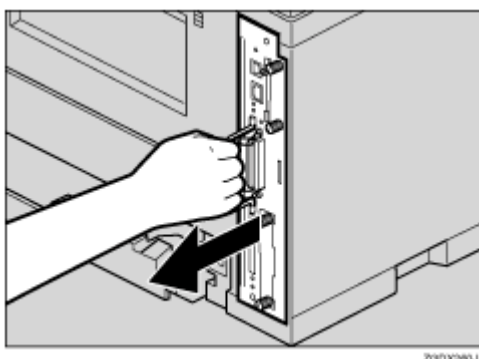
3 **両面印刷ユニットを取り付けている場合は、両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ(①)、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します(②)。**

補足

❒ オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、次の手順へ進んでください。

4 **コントローラーボードを固定しているねじ２本を取り外します。**

補足

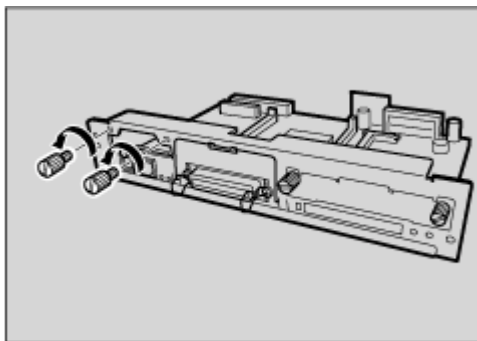
❒ 外しにくい場合はコインなどを使って取り外します。

取り外したねじは後の手順で再びコントローラーボードを固定するときに使用します。

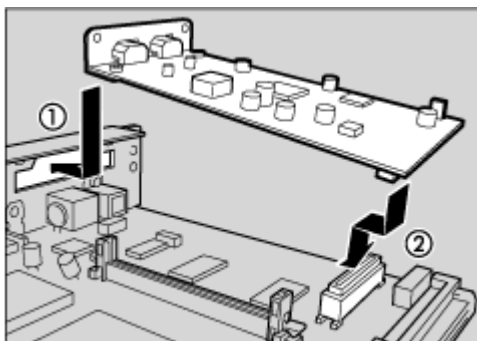
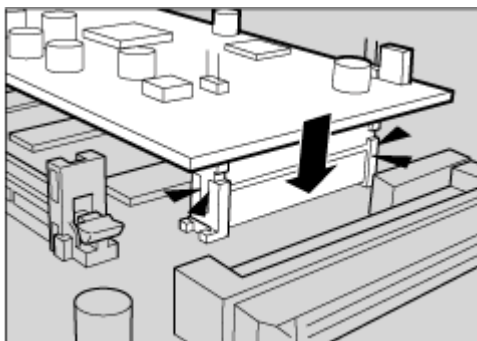
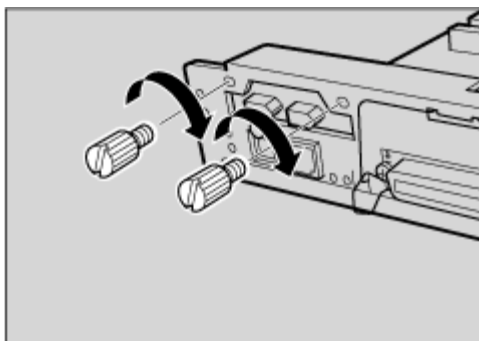
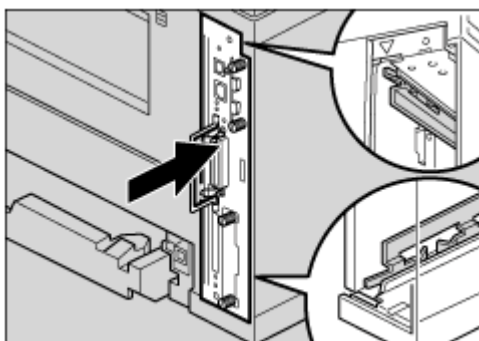
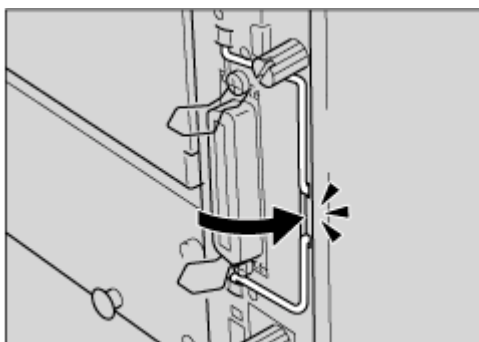
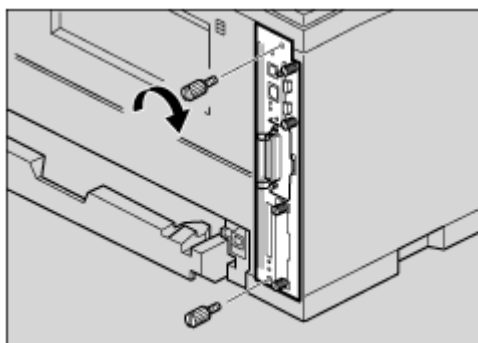
5 コントローラーボードの取っ手を起こします。

6 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

7 コントローラーボードを机などの平らな場所におきます。

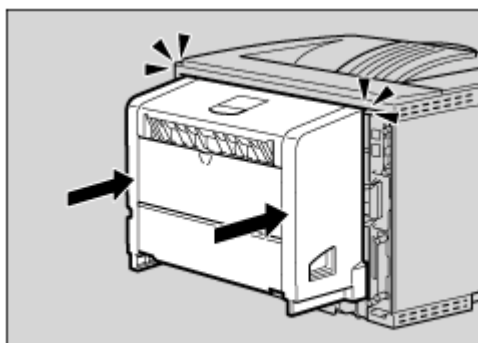
8 ねじ２本を外し、拡張1394ボード取り付け部のカバーを取り外します。

補足

❒ 取り外したねじは後の手順で拡張1394ボードを固定するときに使用します。

❒ **取り外したカバーは使用しません。**

9 拡張1394ボードとコントローラーボードのコネクターを接続します。

まず差込み口に拡張1394ボードをくぐらせてから(①)接続します(②)。

10 **ねじ２本を締め、拡張1394ボードを固定します。**

11 **コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。上部のレールは▽マークを目印にします。**

12 **コントローラーボードの取っ手をカチッと音がする位置まで押し込みます。**

13 ねじを２本締め、コントローラーボードを固定します。

ZGDX272J

14 両面印刷ユニットをしっかりと本機に押し込みます。

ZGDX242J

補足

- ❒ オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、次の手順へ進んでください。

15 本機の電源を入れます。

16 「システム設定リスト」を印刷して、拡張1394ボードが正しく取り付けられたか確認します。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.27 「テスト印刷する」を参照してください。

補足

- ❒ 拡張1394ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認できます。拡張1394ボードが正しく取り付けられているとき、「コントローラオプション」の欄に「IEEE 1394」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- ❒ 拡張 1394 ボードをお使いになる前に、本機の操作部から設定が必要です。詳しくは、P.94 「IEEE 1394を使用する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般の金属廃棄物と同様に処理してください。

拡張無線LANボードを取り付ける

★ 重要

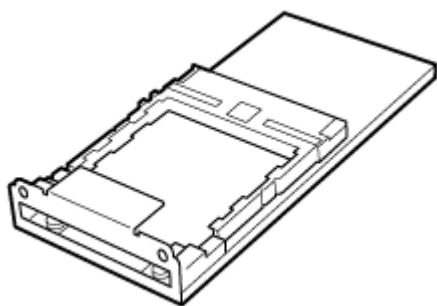
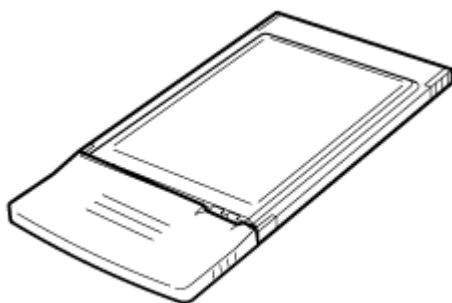
- ❒ 拡張無線LANボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ 拡張無線LANボードに物理的衝撃を与えないでください。
- ❒ 取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。

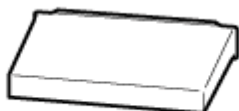
1 同梱品を確認します。

❖ 拡張無線LANボード

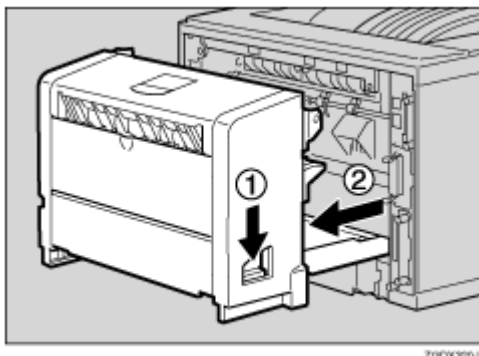
- インターフェースユニット

ZHBP410E

- カード

ZHBP420E

- 静電気防止カバー

ZKDP900J

2 本機の電源を切ります。

3 両面印刷ユニットを取り付けている場合は、両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ(①)、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します(②)。

ZGDX320J

補足

❒ オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、次の手順へ進んでください。

4 コントローラーボードを固定しているねじ２本を取り外します。

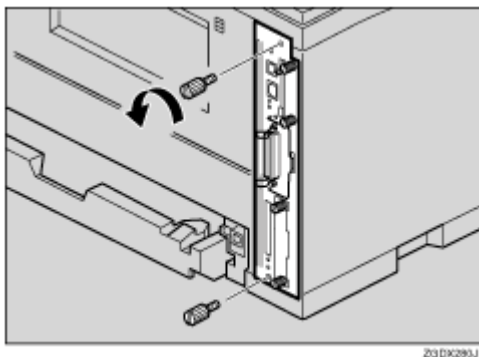
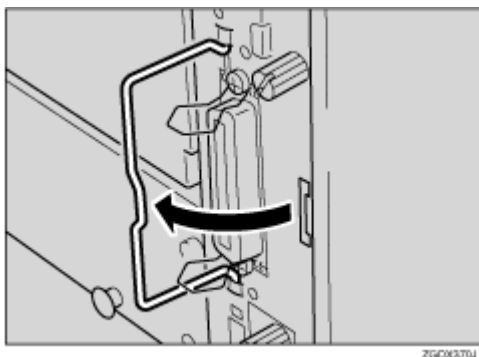
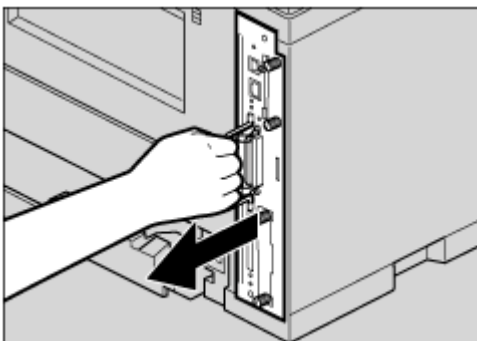
補足

❒ ねじが外しにくい場合はコインなどを使って取り外します。

取り外したねじは後の手順で再びコントローラーボードを固定するときに使用します。

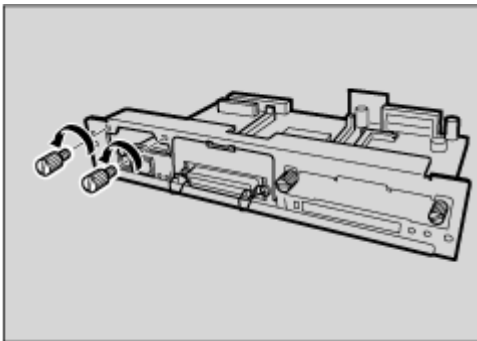
ZGDX280J

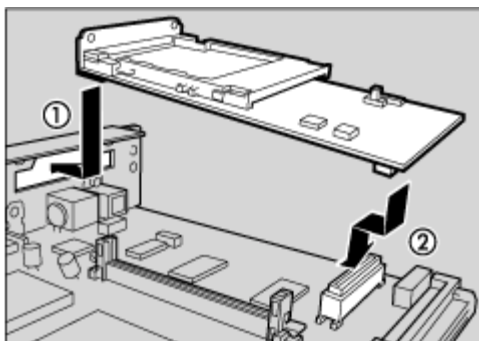
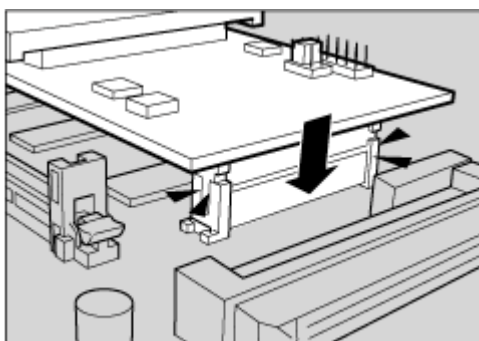
5 コントローラーボードの取っ手を起こします。

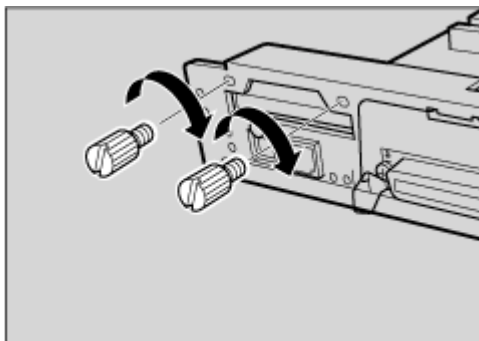
ZGDX370J

6 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

7 コントローラーボードを机などの平らな場所におきます。

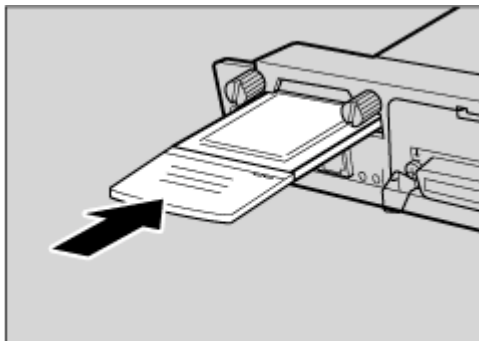
8 ねじ２本を外し、拡張無線LANボード取り付け部のカバーを取り外します。

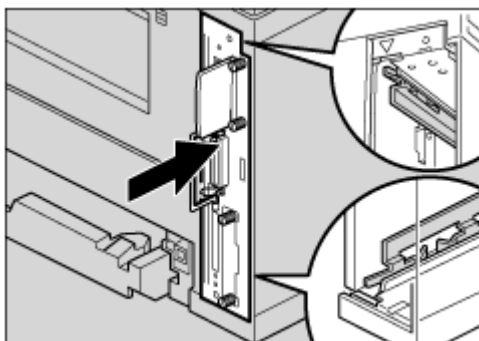
補足

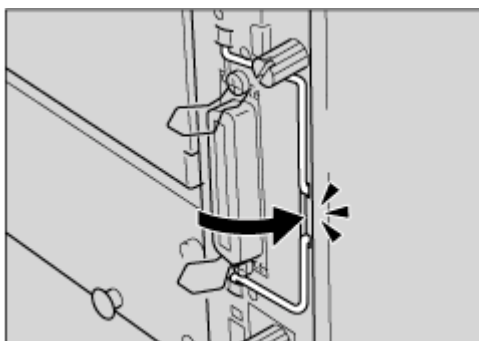
- 取り外したねじは後の手順で拡張無線LANボードを固定するときに使用します。
- 取り外したカバーは使用しません。

9 拡張無線LANボードとコントローラーボードのコネクターを図の順序で接続します。

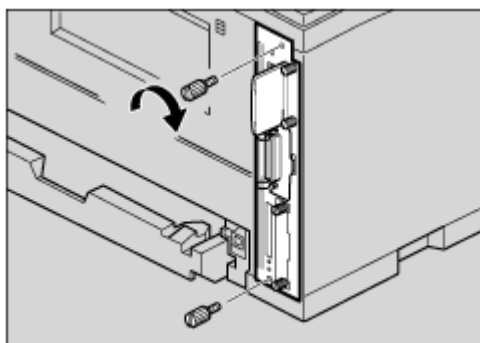
ZGDX420J

ZGDX431J

10 ねじ２本を締め、拡張無線LANボードを固定します。

ZGDX442J

11 拡張無線LANボードにカードを差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。ラベル面を下（黒いアンテナ部分に凹凸のある方を上）にして、差し込みます。

ZGDX500J

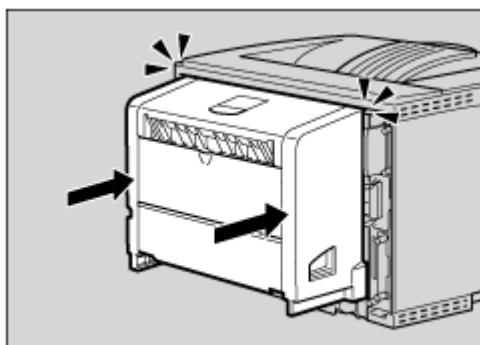
12 コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。上部のレールは▽マークを目印にします。

ZGDX251J

13 コントローラーボードの取っ手をカチッと音がする位置まで押し込みます。

ZGDX380J

14 ねじを２本締め、コントローラーボードを固定します。

ZGDX273J

15 両面印刷ユニットをしっかりと本機に押し込みます。

ZGDX243J

補足

- ❒ オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、次の手順へ進んでください。

16 本機の電源を入れます。

17 「システム設定リスト」を印刷して、拡張無線LANボードが正しく取り付けられたか確認します。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.27 「テスト印刷する」を参照してください。

補足

- ❒ 拡張無線LANボードが正しく取り付けられたかどうかは「システム構成情報」の項目で確認できます。拡張無線LANボードが正しく取り付けられているとき、「コントローラオプション」の欄に「IEEE 802.11b」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- ❒ 拡張無線LANボードをお使いになる前に、本機の操作部から設定が必要です。詳しくは、P.89 「拡張無線LANを使用する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般の金属廃棄物と同様に処理してください。

ワイヤレスインターフェースボードを取り付ける

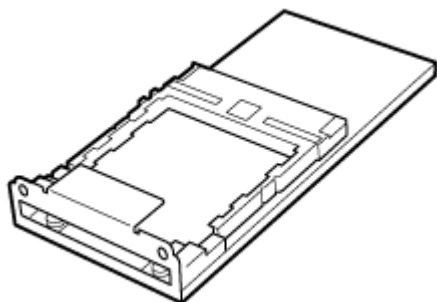
重要

- ❒ **ワイヤレスインターフェースボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。**
- ❒ **ワイヤレスインターフェースボードに物理的衝撃を与えないでください。**
- ❒ **取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。**

制限

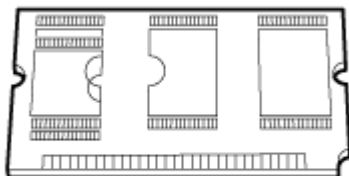
- ❒ IPSiO NX760/NX660Sでワイヤレスインターフェースボードを使用するには、SDRAMモジュールを増設する必要があります。詳しくは、P.37「SDRAMモジュールを取り付ける」を参照してください。

1 **同梱品を確認します。**

❖ **インターフェースユニット**

ZHBP410E

❖ **カード**

ZHBP510E

❖ Bluetoothモジュール

ZHBP520E

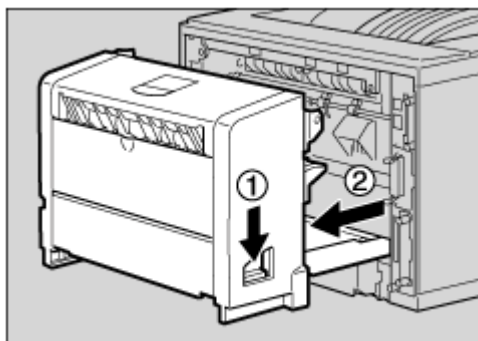
IPSiO NX760/NX660Sで使用できます。

IPSiO NX860eでは使用しません。

❖ 静電気防止カバー

ZHBPA921E

2 本機の電源を切ります。

3 両面印刷ユニットを取り付けている場合は、両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げ(①)、両面印刷ユニットを止まる位置まで引き出します(②)。

ZDDX320J

補足

❒ オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、次の手順へ進んでください。

4 コントローラーボードを固定しているねじ２本を取り外します。

補足

❒ ねじが外しにくい場合はコインなどを使って取り外します。

取り外したねじは後の手順で再びコントローラーボードを固定するときに使用します。

5 コントローラーボードの取っ手を起こします。

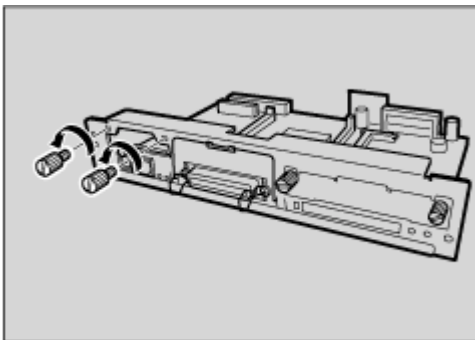
6 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

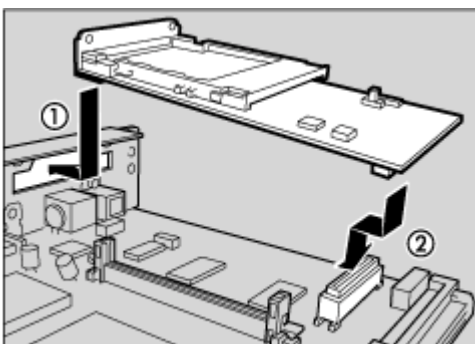
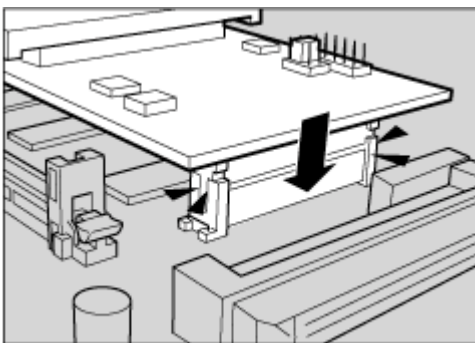
7 コントローラーボードを机などの平らな場所におきます。

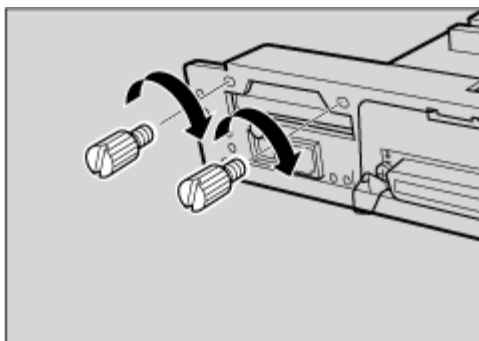
8 ねじ２本を外し、ワイヤレスインターフェースボード取り付け部のカバーを取り外します。

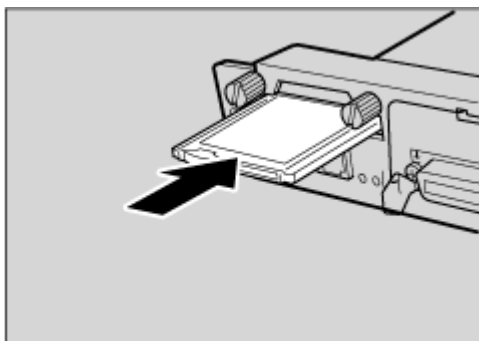
補足

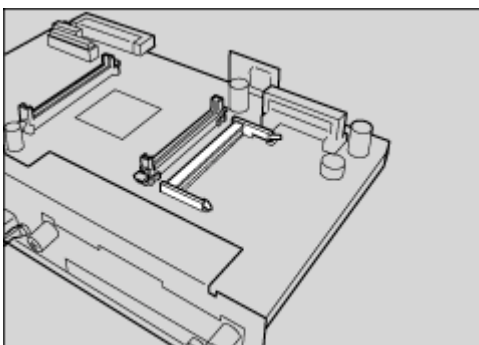
❒ 取り外したねじは後の手順でワイヤレスインターフェースボードを固定するときに使用します。

❒ 取り外したカバーは使用しません。

ZJEX040J

9 インターフェースユニットとコントローラーボードのコネクターを図の順序で接続します。

ZGDX420J

ZGDX431J

10 ねじ2本を締め、ワイヤレスインターフェースボードを固定します。

ZGDX442J

11 ラベルの「INSERT」と書かれた面を上にして、カードをワイヤレスインターフェースボードに突き当たるまでゆっくりと押し込みます。

ZJEX070J

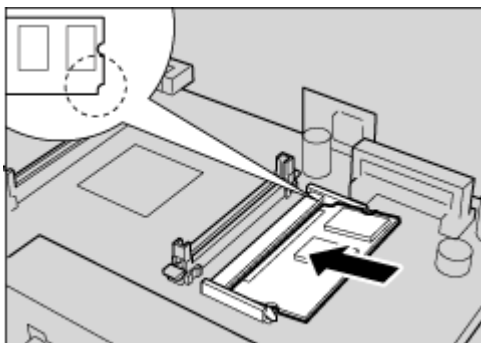
12 IPSiO NX760/NX660Sの場合、Bluetoothモジュールは以下のイラストに示したスロットに設置します。

AGN050S

補足

❒ IPSiO NX860eの場合、Bluetoothモジュールを設置する必要はありません。

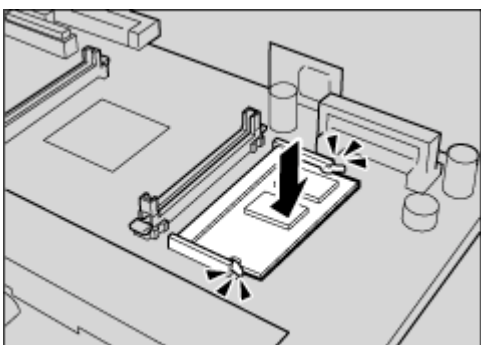
13 IPSiO NX760/NX660Sの場合、Bluetoothモジュールの切り欠きをスロットに合わせ、斜め上から挿入します。

ZJEX050J

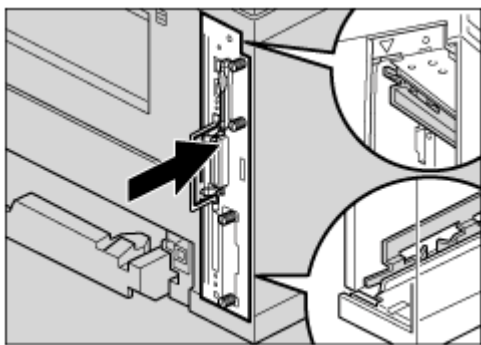
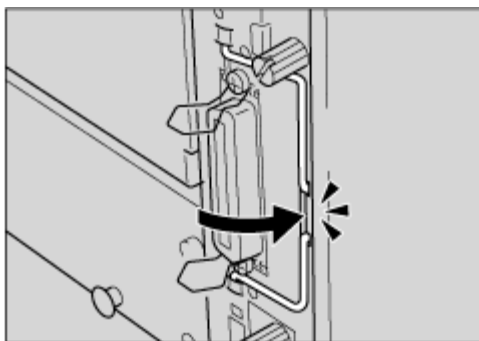
補足

❒ IPSiO NX860eの場合、Bluetoothモジュールを設置する必要はありません。

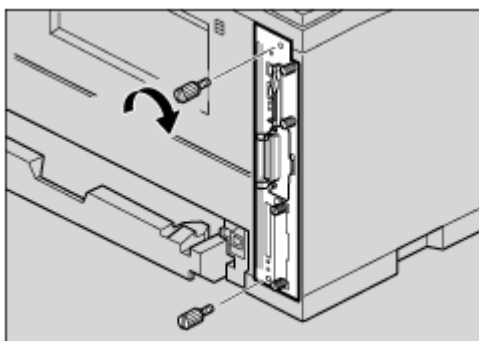
14 IPSiO NX760/NX660Sの場合、Bluetoothモジュールを、カチッと音がするまで押します。

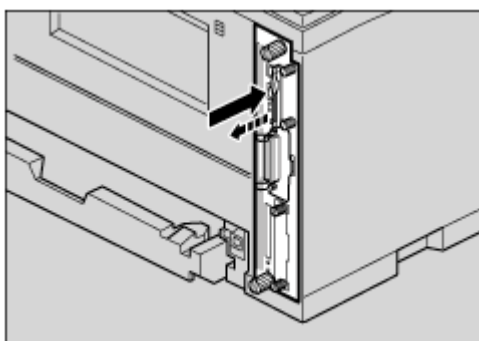
ZJEX060J

補足

❒ IPSiO NX860eの場合、Bluetoothモジュールを設置する必要はありません。

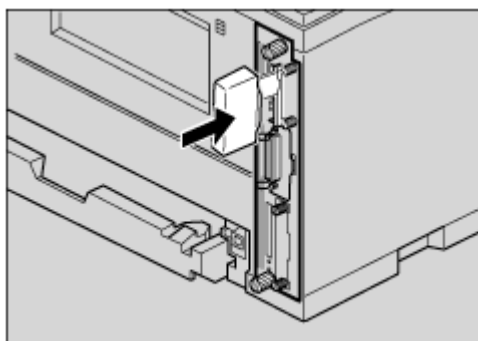
15 コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。上部のレールは▽マークを目印にします。

ZJEX080J

16 コントローラーボードの取っ手をカチッと音がする位置まで押し込みます。

ZGDX380J

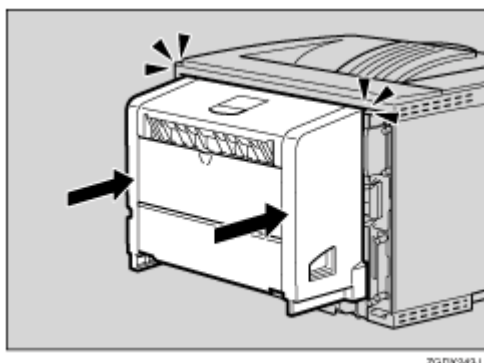
17 ねじを２本締め、コントローラーボードを固定します。

ZJEX274J

18 アンテナを押して、ポップアップさせます。

ZJEX090J

19 アンテナの上に静電気防止カバーを取り付けます。

ZJEX340J

20 両面印刷ユニットをしっかりと本機に押し込みます。

ZGDX243J

補足

- ❒ オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、次の手順へ進んでください。

21 「システム設定リスト」を印刷して、ワイヤレスインターフェースボードが正しく取り付けられたか確認します。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.27 「テスト印刷する」を参照してください。

補足

- ❒ ワイヤレスインターフェースボードが正しく取り付けられたかどうかは「システム構成情報」の項目で確認できます。ワイヤレスインターフェースボードが正しく取り付けられているとき、「コントローラオプション」の欄に「BTボード」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

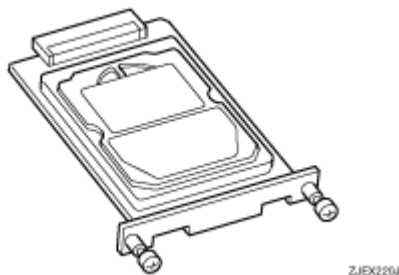
取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般の金属廃棄物と同様に処理してください。

拡張HDDを取り付ける

重要

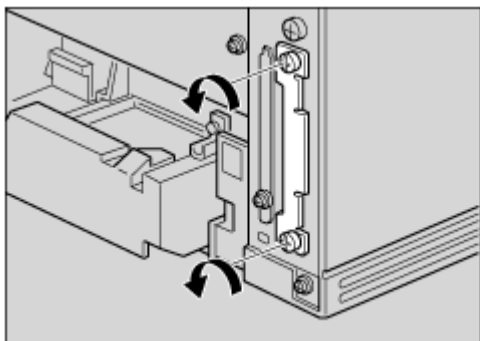
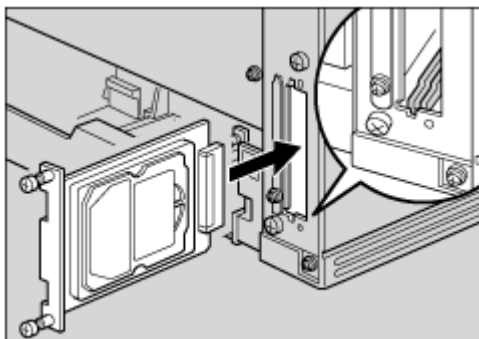
- 拡張HDDに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- 取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。

1 同梱品を確認します。

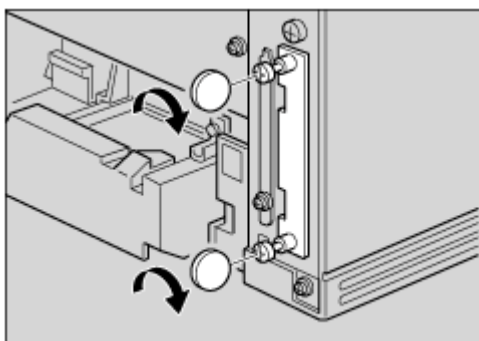
❖ 拡張HDD

2 本機の電源を切ります。

3 ねじ２本を外し、拡張HDD取り付け部のカバーを取り外します。

補足

- ねじが外しにくい場合はコインなどを使って取り外します。
- 取り外したねじとカバーは使用しません。

4 拡張HDDのねじの部分を持ち、上下の溝に合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。

ZCEX151J

5 ねじ２本を締め、拡張HDDを固定します。

ZCEX360J

6「システム設定リスト」を印刷して、拡張HDDが正しく取り付けられたか確認します。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.27 「テスト印刷する」を参照してください。

補足

- ❒ 拡張HDDが正しく取り付けられたかどうかは「システム構成情報」の項目で確認できます。拡張HDDが正しく取り付けられているとき、「コントローラオプション」の欄に「ハードディスク」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般の金属廃棄物と同様に処理してください。

拡張エミュレーションモジュールを取り付ける

このオプションの対応機種はIPSiO NX760/NX660Sです。

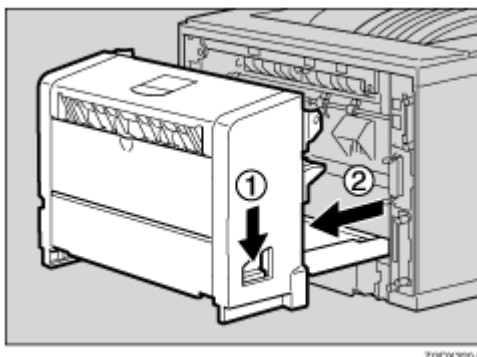
重要

- ❒ 拡張エミュレーションモジュールに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ 拡張エミュレーションモジュールに物理的衝撃を与えないでください。
- ❒ 取り付け前にインターフェースケーブルをすべて本機から取り外してください。

1 本機の電源を切ります。

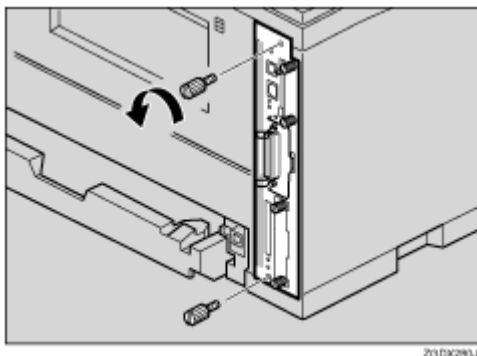
補足

- ❒ オプションの両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、次の手順へ進んでください。

2 両面印刷ユニットを取り付けている場合は、両面印刷ユニット側面のレバーを押し下げて(①)、両面印刷ユニットが止まる位置まで引き出します(②)。

3 コントローラーボードを固定しているねじ２本を取り外します。

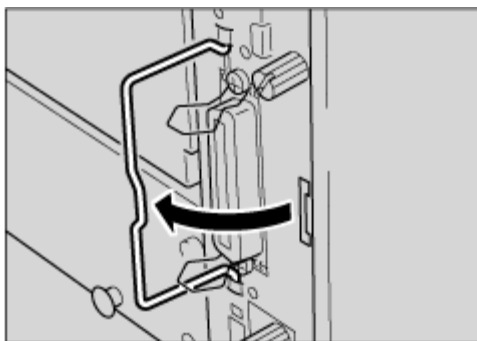
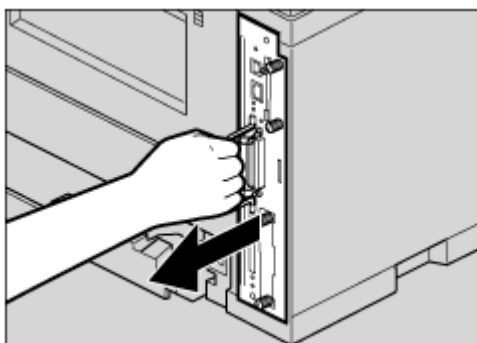
補足

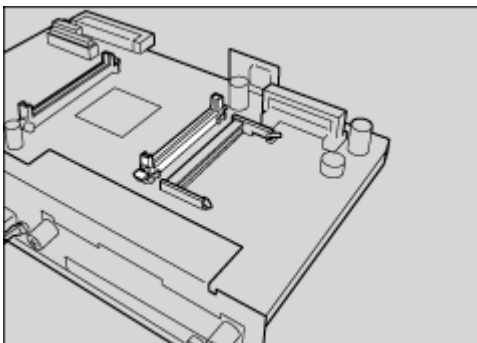
- ❒ ねじが外しにくい場合はコインなどを使って取り外します。

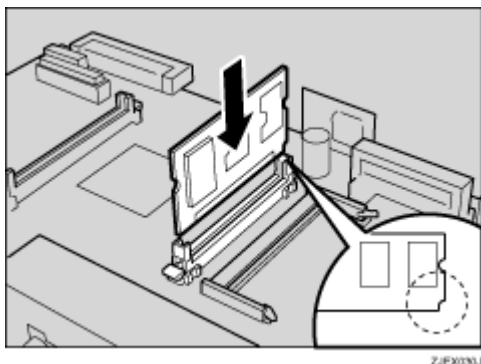
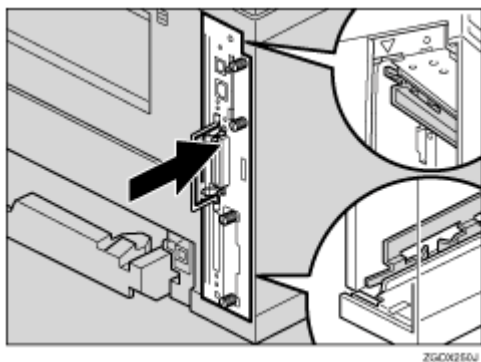
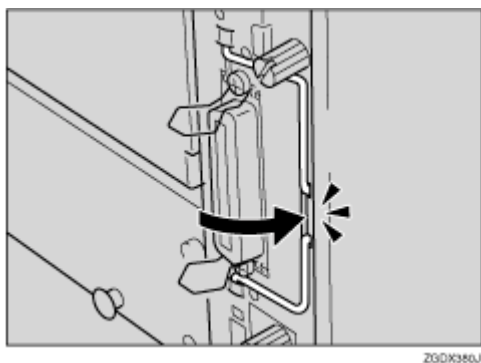
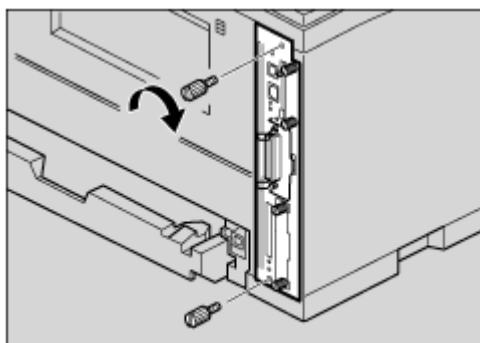
取り外したねじはで再び後の手順でコントローラーボードを固定するときに使用します。

4 コントローラーボードの取っ手を起こします。

ZGDX370J

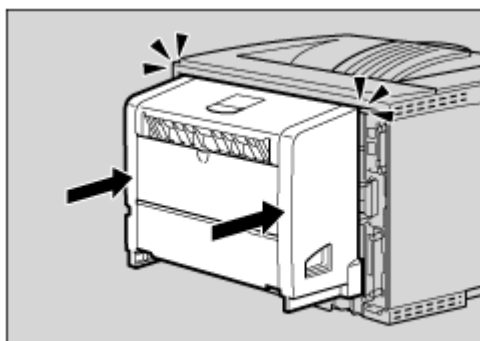
5 取っ手を持ち、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

ZGDX260J

6 コントローラーボードを机などの平らな場所に置きます。

7 拡張エミュレーションモジュールは以下のイラストに示したスロットに設置します。

AGN052S

8 拡張エミュレーションモジュールの切り欠きが２個所ある方を図のように合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。

9 コントローラーボードを上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。上部のレールは▽マークを目印にします。

10 コントローラーボードの取っ手をカチッと音がする位置まで押し込みます。

11 ねじを２本締め、コントローラーボードを固定します。

補足

- ❒ 両面印刷ユニットを取り付けていない場合は、次へ進んでください。

12 両面印刷ユニットをしっかりと本機に押し込みます。

13 本機の電源を入れます。

14 「システム設定リスト」を印刷して、拡張エミュレーションモジュールが正しく取り付けられたか確認します。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.27 「テスト印刷する」を参照してください。

補足

- ❒ 拡張エミュレーションモジュールが正しく取り付けられたかどうかは「システム構成情報」の項目で確認できます。拡張エミュレーションモジュールが正しく取り付けられているとき、「搭載エミュレーション」の欄に各エミュレーションの名称が記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- ❒ 拡張エミュレーションモジュールを取り外すときは、差込み口横のボタンを押してください。

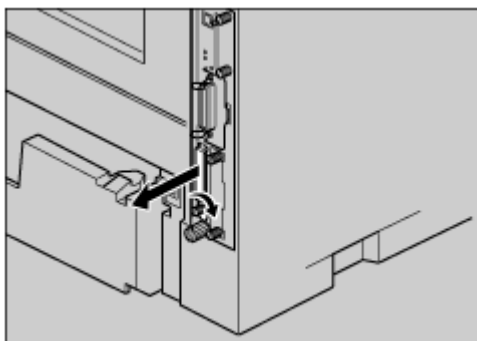
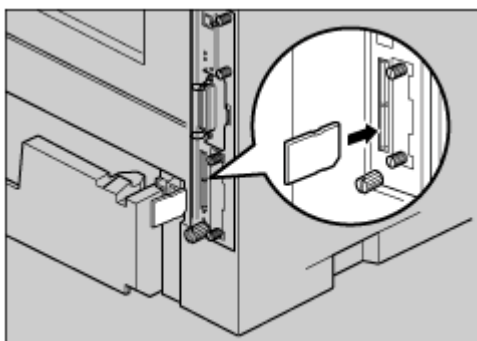
拡張エミュレーションカード、暗号化カードを取り付ける

このオプションの対応機種はIPSiO NX860eです。

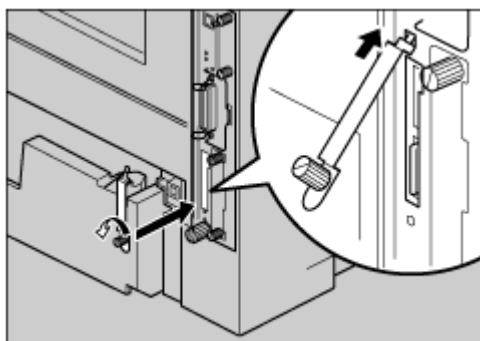
重要

❒ 拡張エミュレーションカード、および暗号化カードに、物理的衝撃を与えないでください。

1 本機の電源が入っている場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 プリンター本体背面にあるカード用スロットのカバーを外します。

3 カチッと音がするまで拡張エミュレーションカードまたは暗号化カードを、スロットに差し込みます。

補足

❒ カード用スロットは２つあります。同時に２種類のカードを取り付けて使用できます。1種類のカードを使用する場合は、下のスロットに取り付けてください。

4 カード用スロットのカバーを取り付けます。

補足

- ❒ 本機を使用中は、拡張エミュレーションカードまたは暗号化カードに触れないでください。少し押しただけで外れてしまうことがあります。必ずカバーを取り付けてください。
- ❒ 拡張エミュレーションカードおよび暗号化カードが正しく取り付けられたかどうかは、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。
  - 拡張エミュレーションカードが正しく取り付けられると、「システム構成情報」の「搭載エミュレーション」の欄にエミュレーションの名称が記載されます。
  - 暗号化カードは、システム設定リストには情報が記載されません。
- ❒ 正しく取り付けられない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストの印刷方法については、P.27 「テスト印刷する」を参照してください。

両面印刷ユニットを取り付ける

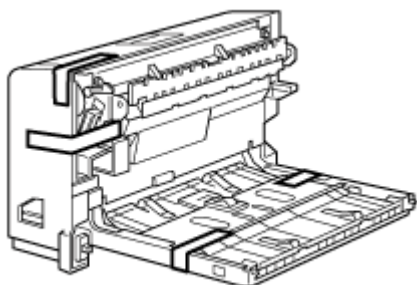
操作の前に

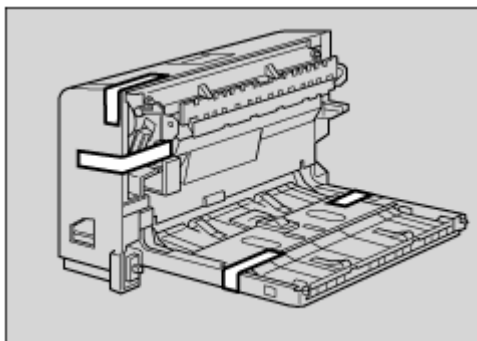
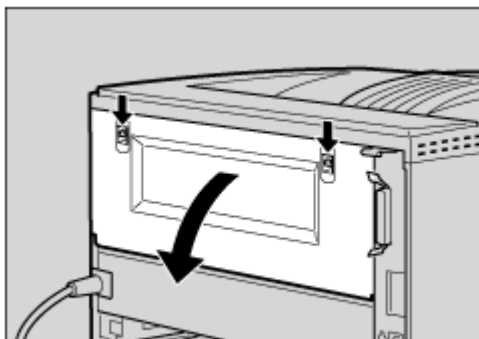
オプションの500枚増設トレイユニットや250枚増設トレイユニットは、両面印刷ユニットを取り付ける前に取り付けてください。詳しくは、P.34「500枚増設トレイユニット、250枚増設トレイユニットを取り付ける」を参照してください。

⚠ 注 意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

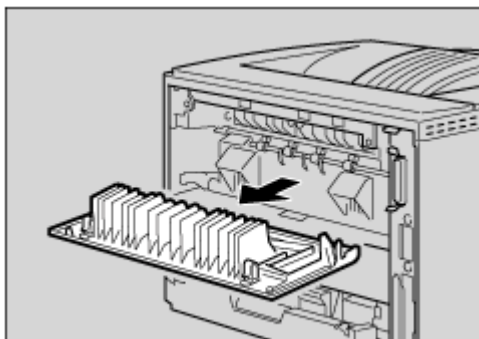
1 同梱品を確認します。

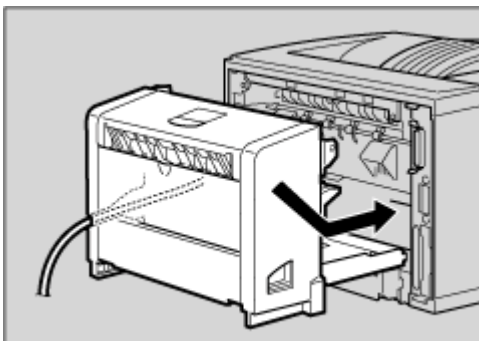
❖ **両面印刷ユニット**

2 本機の電源を切ります。

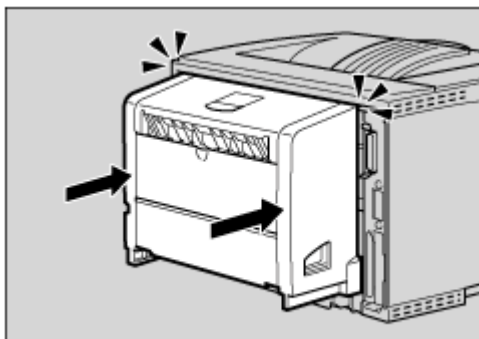
3 固定用のテープを取り外します。

4 本機の後ろカバーを、２個所の爪を降ろして開けます。

ZCEX210J

5 後ろカバーを水平方向に取り外します。

補足

❒ 取り外したカバーは、両面印刷ユニット装着時には使用しません。

ZCEX220J

6 電源ケーブルを両面印刷ユニット側面の溝に沿わせて、両面印刷ユニットを本体背面のレールに差し込みます。

ZCEX231J

7 両面印刷ユニットをしっかりと本機に押し込みます。

ZCEX240J

8 本機の電源を入れます。

9 「システム設定リスト」を印刷して、両面印刷ユニットが正しく取り付けられたか確認します。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.27 「テスト印刷する」を参照してください。

補足

- 両面印刷ユニットが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認できます。両面印刷ユニットが正しく取り付けられているとき、「オプション機器」の欄に「両面ユニット」と記載されます。
- 正しく取り付けられていない場合は、最初からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- 印刷位置がずれたときは、＜メンテナンスガイド＞「印刷位置を調整する」を参照してください。
- 両面印刷ユニットの取り外しについては、＜メンテナンスガイド＞「紙づまりの対処」を参照してください。

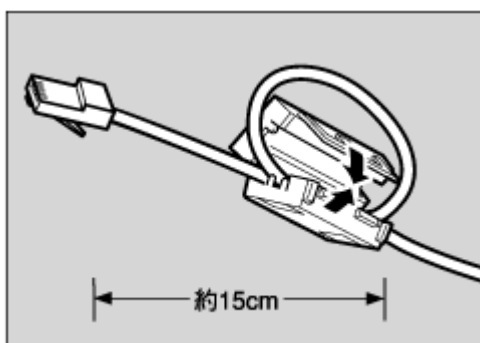
イーサネットケーブルで接続する

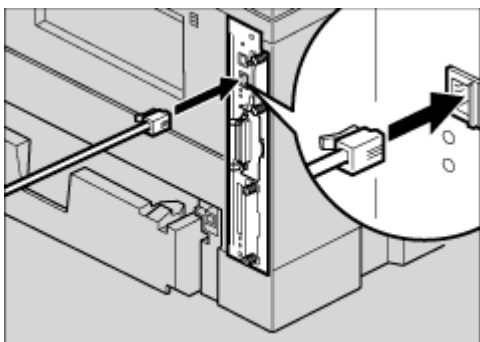
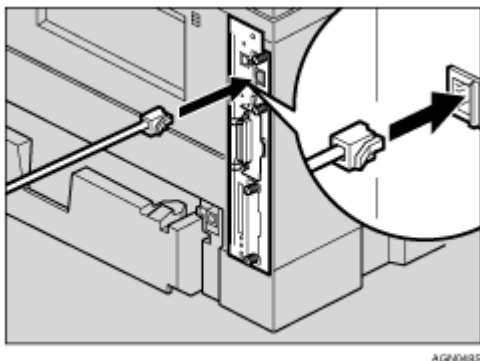
HUBなどのネットワーク機器を準備してから、本機にイーサネットケーブルを接続します。

本機のイーサネットボード（ポート）に、10BASE-Tまたは100BASE-TXのケーブルを接続してください。

重要

- ❒ **イーサネットケーブルは同梱されていません。ご使用になるネットワーク環境に合わせて別途ご用意ください。**

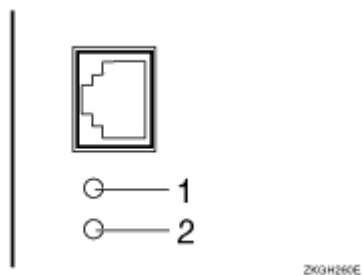
1 **ケーブルのプリンター本体側のコネクタから約 15cm の位置に、図のような一輪の輪を作りコアを取り付けます。IPSiO NX860eとIPSiO NX760ではコアを取り付ける必要はありません。**

2 **プリンター本体背面のイーサネットポートにケーブルを接続します。**

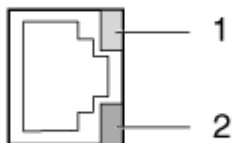
IPSiO NX860e/NX760の場合は、標準装備のイーサネットポートにケーブルを接続します。

IPSiO NX660Sの場合は、拡張イーサネットボードのポートにケーブルを接続します。

AGN048S

3 ケーブルのもう一方のコネクターをハブ（HUB）などのネットワーク機器に接続します。

ネットワーク環境の設定については、P.84「イーサネットを使用する」を参照してください。

LEDの見かた

IPSiO NX860e/NX760の場合

ZKGH260E

IPSiO NX660Sの場合

ZKDH994J

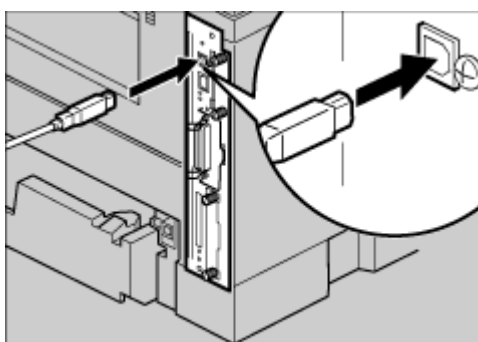
① 100BASE-TX動作時は黄点灯し、10BASE-T動作時は消灯します。

② ネットワークに正常に接続していると緑点灯します。

USBケーブルで接続する

重要

- ❒ USB接続は、Windows 98 SE/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Mac OS 9.x、Mac OS Xに対応しています。
- ❒ Windows 98 SE/Meのサポート速度は、USB1.1相当です。
- ❒ Macintoshでは、本体標準のUSBポートのみ対応しています。
- ❒ USBケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。
- ❒ インターフェースケーブルをお買い求めの際は、＜メンテナンスガイド＞「関連商品一覧」を参照してください。

1 プリンター本体背面のコネクターに、USBケーブルの小さい方のコネクターを接続します。

2 もう一方をパソコンのUSBインターフェース、USBハブなどに接続します。

これで、本機とパソコンの接続は終了です。パソコンにプラグアンドプレイ画面が表示されます。詳しくは、＜ソフトウェアガイド＞「印刷するための準備」を参照してください。

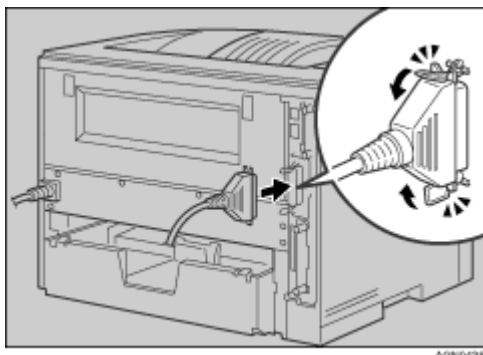
パラレルケーブルで接続する

パソコンとプリンターをパラレル接続するには、インターフェースケーブルを使用します。インターフェースケーブルはプリンターに同梱されていません。接続するパソコンによって使用するケーブルが異なりますので、ご使用のパソコンをご確認の上、インターフェースケーブルを用意してください。インターフェースケーブルについては、<メンテナンスガイド>「関連商品一覧」を参照してください。

★ 重要

❒ 必ず指定のインターフェースケーブルをお使いください。他のケーブルを使うと電波障害を起こすことがあります。

1 プリンター本体とパソコンの電源を切ります。

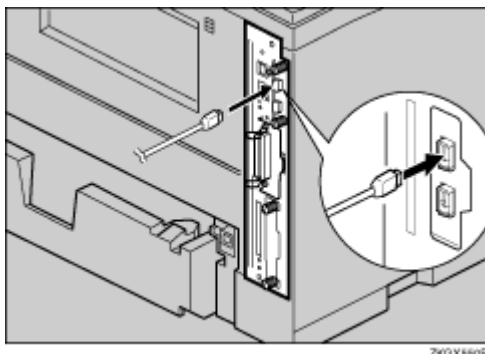
2 プリンター本体右側面のパラレルインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのコネクターを接続し、両側の金具で固定します。

3 パソコンのインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのもう一方のコネクターを接続し、固定します。

これで、本機とパソコンの接続は終了です。次にプリンタードライバーをインストールします。詳しくは、<ソフトウェアガイド>「印刷するための準備」を参照してください。

拡張1394ボードにケーブルを接続する

重要

- ❒ インターフェースケーブルは、拡張1394ボードに同梱のケーブルをご使用ください。
- ❒ ケーブルの接続をループ状にしないでください。

1 拡張1394ボードのコネクターにインターフェースケーブルを接続します。

補足

- ❒ コア付きのインターフェースケーブルを使うときは、コアに近い方のコネクターを拡張 1394 ボードのコネクターに接続してください。
- ❒ 拡張1394ボードのコネクターは上下どちらでも接続可能です。

2 インターフェースケーブルのもう一方を、パソコンに接続します。

これで、本機とパソコンの接続は終了です。次にプリンタードライバーをインストールします。詳しくは、＜ソフトウェアガイド＞「印刷するための準備」を参照してください。

イーサネットを使用する

本機の操作部を使ってネットワークに関する設定をします。

イーサネットケーブルやオプションの拡張無線LANボード、拡張1394ボードを使用して本機をネットワークに接続する場合は、使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作部で設定してください。

TCP/IPを利用できる環境でIPアドレスに関する設定をする場合は、Ridoc IO AdminやWebブラウザも使用できます。

設定できる項目と工場出荷時の値は、次の表のとおりです。これらの項目は、インターフェース設定メニューの項目です。

<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="2">工場出荷時</th></tr>
<tr><td>1.DHCP</td><td colspan="2">Off</td></tr>
<tr><td>2.IPアドレス</td><td colspan="2">011.022.033.044</td></tr>
<tr><td>3.サブネットマスク</td><td colspan="2">000.000.000.000</td></tr>
<tr><td>4.ゲートウェイアドレス</td><td colspan="2">000.000.000.000</td></tr>
<tr><td>5.NWフレームタイプ</td><td colspan="2">ジドウセンタク</td></tr>
<tr><td rowspan="4">6.有効プロトコル</td><td>TCP/IP</td><td>ユウコウ</td></tr>
<tr><td>NetWare</td><td>ムコウ</td></tr>
<tr><td>SMB</td><td>ユウコウ</td></tr>
<tr><td>AppleTalk</td><td>ユウコウ</td></tr>
<tr><td>7.イーサネット速度</td><td colspan="2">ジドウセンタク</td></tr>
<tr><td>8.LANタイプ</td><td colspan="2">イーサネット</td></tr>
</table>

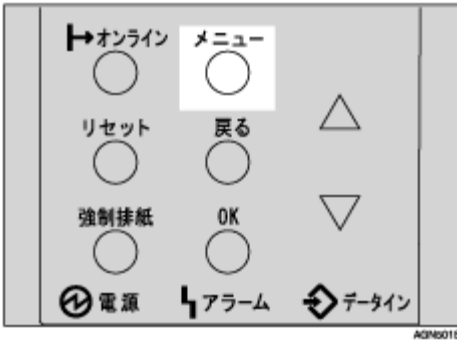
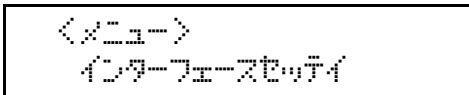
補足

- ❒ DHCP環境で使用する場合、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは自動的に設定されます。
- ❒「7.イーサネット速度」は必要に応じて設定してください。詳しくは＜ソフトウェアガイド＞「インターフェース設定メニュー」を参照してください。

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

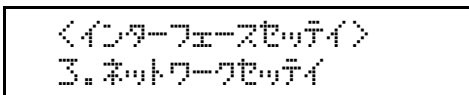
2 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 インターフェースセッテイ
```

インターフェース設定画面が表示されます。

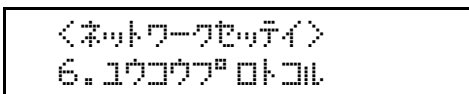
3 使用するプロトコルを有効にします。【▲】または【▼】キーを押して、「ネットワークセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

工場出荷時の設定は、冒頭の表を参照してください。

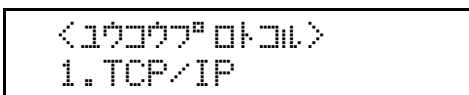
ご使用にならないプロトコルは「ムコウ」（無効）にしておくことをお勧めします。

```
<インターフェースセッテイ>
3.ネットワークセッテイ
```

ネットワーク設定画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して、「ユウコウプロトコル」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
6.ユウコウプロトコル
```

ユウコウプロトコル設定画面が表示されます。

5 【▲】または【▼】キーを押して、使用するプロトコルを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ユウコウプロトコル>
1.TCP/IP
```

ここではTCP/IPを有効にする例で説明します。

6 【▲】または【▼】キーを押して、「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<TCP/IP>
*ﾕｳｺｳ
```

約２秒後、有効プロトコルを設定する画面に戻ります。無効にする場合は「ムコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

7 使用するプロトコルを続けて設定します。

8 有効にするプロトコルの設定が終了したら、【戻る】キーを押します。

ネットワークの設定項目を選択する画面が表示されます。

補足

- ❒ NetWare 5/5.1J、Netware 6のピュアIP環境でお使いになる場合は、TCP/IPプロトコルを「ユウコウ」（有効）に設定してください。

9 TCP/IP プロトコルを使用するときは、プリンターに割り当てる IP アドレスを設定します。【▲】または【▼】キーを押して、「IPアドレス」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ>
2.IPｱﾄﾞﾚｽ
```

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

補足

- ❒ DHCPをOnに設定しているときは、IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスの設定を変更することはできません。
- ❒ 拡張1394ボードを装着し、「IEEE 1394」でDHCPをOffに設定しているときは、ゲートウェイアドレスを変更できます。
- ❒ 設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

10 【▲】または【▼】キーを押して、カーソルのあるフィールドの値を変更します。

```
<IPｱﾄﾞﾚｽ>
19█.022.033.044
```

補足

- ❒ 【▲】または【▼】キーを押し続けると、値が10ずつ増減します。
- ❒ 変更の必要がないときは、【OK】キーを押すと、次のフィールドに移動します。
- ❒ 011.022.033.044は使用できません。指定しないでください。

11 【OK】キーを押します。

フィールドに値が入力され、次のフィールドにカーソルが移動します。

```
<IPｱﾄﾞﾚｽ>
192.02█.033.044
```

12 同じ操作を繰り返し、すべてのフィールドに値を入力して、【OK】キーを押します。

一つ前のフィールドに移動するときは、【戻る】キーを押します。

13 TCP/IPプロトコルを使用するときは、IPアドレスの設定と同様の手順で「サブネットマスク」〜「ゲートウェイアドレス」までの項目を設定します。

14 TCP/IPプロトコルでDHCPを使用するときは、DHCPの設定をします。【▲】または【▼】キーを押して、「DHCP」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ>
1.DHCP
```

15 【▲】または【▼】キーを押して、「On」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<DHCP>
 *On
```

約２秒後、ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

16 NetWareを使用するときは、NetWareのフレームタイプを選択します。

選択できるフレームタイプは、以下のとおりです。

- ジドウセンタク（工場出荷時）
- Ethernet II
- Ethernet 802.2
- Ethernet 802.3
- Ethernet SNAP

補足

❒ NetWareのフレームタイプに「ジドウセンタク」を選択した場合は、起動時に最初に検知したフレームタイプに設定されます。したがって、複数のフレームタイプが使用可能なネットワークでは目的のフレームタイプに設定されないことがあります。その場合は、使用したいフレームタイプを選択してください。

17 【▲】または【▼】キーを押して、「NWフレームタイプ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ>
5.NWﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
```

現在の設定が表示されます。

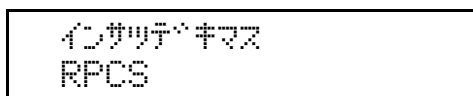
18 【▲】または【▼】キーを押して、使用するフレームタイプを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<NWﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ >
*ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ
```

約２秒後、ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

19 すべての設定が終了したら、【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

20 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

システム設定リストの印刷方法については、P.27「テスト印刷する」を参照してください。

拡張無線LANを使用する

IEEE 802.11bを使用するときに必要な項目を設定します。
設定できる項目と工場出荷時の値は次のとおりです。

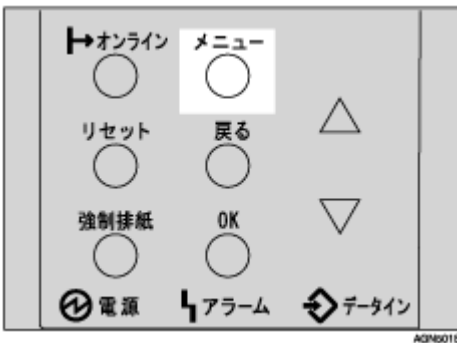
項目名	工場出荷時
1.ツウシンモード	802.11 アドホック
2.チャンネル	(1〜14)　　11
3.ツウシンソクド	ジドウセッテイ
4.SSID	入力値設定なし
5.WEPセッテイ	ムコウ

補足

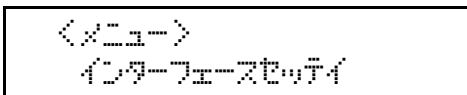
- ❒ 無線LANを使用するには、「I/F選択」でIEEE802.11bを選択したあと、ネットワーク設定の「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」「ネットワークブート」「NWフレームタイプ」「有効プロトコル」を設定する必要があります。設定方法については、P.84「イーサネットを使用する」を参照してください。

制限

- ❒ 拡張無線LANは、イーサネットインターフェースと同時に使用することはできません。

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

〈メニュー〉
インターフェースセッテイ

3 【▲】または【▼】キーを押して、「IEEE 802.11b」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<インターフェースセッテイ>
6.IEEE 802.11b
```

IEEE 802.11b設定画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して、「ツウシンモード」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<IEEE 802.11b>
1.ツウシンモード
```

ツウシンモード設定画面が表示されます。

5 【▲】または【▼】キーを押して、通信モードを選択し、【OK】キーを押します。

```
<ツウシンモード>
*802.11 アドホック
```

設定が確定し、約２秒後にIEEE802.11b設定画面に戻ります。

6 通信モードで「802.11 アドホック」または、「アドホック」を選択した場合は、通信に使用するチャンネルを設定します。

補足

- ❒ 設定するチャンネルはネットワーク管理者に確認してください。
- ❒ SSIDを指定しない場合は、「アドホック」を選択します。

7 【▲】または【▼】キーを押して、「チャンネル」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<IEEE 802.11b>
2.チャンネル
```

現在設定されているチャンネルが表示されます。

8 【▲】または【▼】キーを押して、チャンネル数値を入力し、【OK】キーを押します。

```
<チャンネル>
(1-14)          11
```

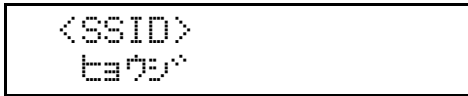
9 IEEE802.11b設定画面が表示されますので、同様の手順で「ツウシンソクド」を設定します。

10 通信モードで「802.11 アドホック」「インフラストラクチャー」を選択した場合は、通信に使用するSSIDを設定します。【▲】または【▼】キーを押して、「SSID」を表示させ、【OK】キーを押します。

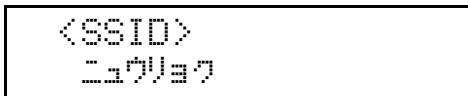
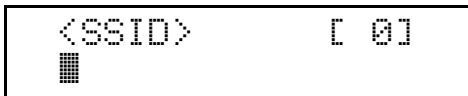
設定するSSIDはネットワーク管理者に確認してください。

```
<IEEE 802.11b>
4.SSID
```

SSID設定画面が表示されます。

```
<SSID>
 ヒョウジ
```

「ヒョウジ」を実行すると、SSIDが設定済みのときはSSIDを確認することができます。SSIDが未設定のときは、「SSIDハ　ニュウリョク　サレテイマセン」と表示され、IEEE 802.11b設定画面に戻ります。

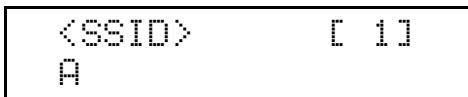
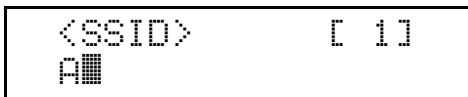
11 【▲】または【▼】キーを押して、「ニュウリョク」を表示し、【OK】キーを押します。

```
<SSID>
 ニュウリョク
```

【OK】キーを押すとSSID入力画面が表示されます。

上段右端[ ] 内の数字は、入力済の桁数を表しています。

12 【▲】または【▼】キーで文字を選択して、【OK】キーを押します。

```
<SSID>      [ 1]
A
```

カーソルが次の桁に移ります。

```
<SSID>      [ 1]
A
```

13 続けて文字列を入力します。

SSIDで使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

【戻る】キーを押すと、一つ前の桁に戻ります。

14 文字列の入力が完了したら、【OK】キーを押します。

設定が確定し、IEEE 802.11b設定画面に戻ります。

15 ネットワーク内でWEPキーを使用している場合は、通信に使用するWEPキーの設定と、WEPを有効にします。

設定するWEPキーはネットワーク管理者に確認してください。

16 【▲】または【▼】キーを押して、「WEPセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<IEEE 802.11b>
5.WEPｾｯﾃｲ
```

WEP設定画面が表示されます。

```
<WEPｾｯﾃｲ>
 ﾑｺｳ
```

17 【▲】または【▼】キーを押して、「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<WEPｾｯﾃｲ>
*ﾕｳｺｳ
```

WEPキー変更画面が表示されます。

```
<WEPｷｰﾍﾝｺｳ>
 ｽﾙ(HEX)
```

補足

- ❒ WEPセッテイを「ユウコウ」にした場合、必ずWEPキーの入力が必要です。WEPキーを未入力の場合には、必ず入力してください。
- ❒ 既に入力済みで設定の切り替えを行なう場合には、【▲】または【▼】キーを押して、「シナイ」を表示させて、【OK】キーを押してください。

18 【▲】または【▼】キーを押して、WEPキーを16進数で入力する場合は「スル(HEX)」を表示させ、ASCII文字列で入力する場合は「スル(ASCII)」を表示させ、【OK】キーを押します。

WEPキー入力画面が表示されます。

上段右端[ ]内の数字は、入力済の桁数を表しています。

19 【▲】または【▼】キーで文字を選択して、【OK】キーを押します。

```
<WEPｷｰ>      [  1]
A
```

カーソルが次の桁に移ります。

```
<WEPｷｰ>      [  1]
*
```

続けて文字列を入力します。

補足

- ❒ 64bit WEPを使用する場合、16進数では10桁、ASCII文字列では5桁の文字列が使用できます。128bit WEPを使用する場合、16進数では26桁、ASCII文字列では13桁の文字列が使用できます。
- ❒ 入力できる桁数は、16進数の場合は10桁か26桁、ASCII文字列の場合は5桁か13桁に限られます。それ以外の桁数で入力を完了させると、以下のメッセージがディスプレイに表示されます。
  - 16進数の場合

```
ｹﾀｽｳｶﾞ ﾀﾀﾞｼｸｱﾘﾏｾﾝ
      (10ﾏﾀﾊ26ｹﾀ)
```

  - ASCII文字列の場合

```
ｹﾀｽｳｶﾞ ﾀﾀﾞｼｸｱﾘﾏｾﾝ
       (5ﾏﾀﾊ13ｹﾀ)
```

- ❒ ASCII文字列の場合、大文字と小文字はそれぞれ別の文字として認識されます。
- ❒ 【戻る】キーを押すと、一つ前の桁に戻ります。

20 文字列の入力が完了したら、【OK】キーを押します。

設定が確定し、IEEE 802.11b設定画面に戻ります。

21 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

22 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

システム設定リストの印刷方法については、P.27「テスト印刷する」を参照してください。

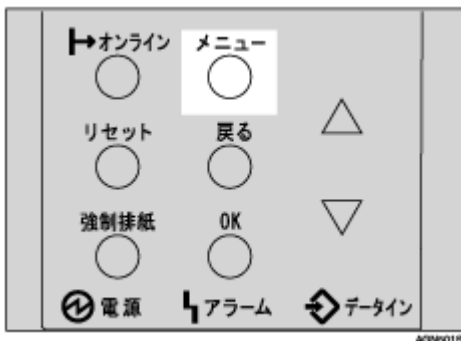
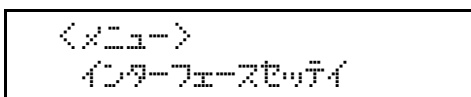
IEEE 1394を使用する

IEEE 1394を使用するときに、プリンターの操作部から必要な項目を設定します。
設定できる項目と工場出荷時の値は次のとおりです。

項目名	工場出荷時
1.DHCP	Off
2.IPアドレス	011.022.033.044
3.サブネットマスク	000.000.000.000
4.IP over 1394	ユウコウ
5.SCSI print	ユウコウ
6.SCSIprntソウホウコウ	スル

❒ DHCP環境で使用する場合、IPアドレスおよびサブネットマスクは自動的に設定されます。

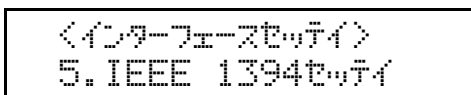
IP over 1394の場合

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
インターフェースセッテイ

3 【▲】または【▼】キーを押して、「IEEE 1394 セッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<インターフェースセッテイ>
5.IEEE 1394セッテイ

IEEE 1394設定画面が表示されます。

4 **【▲】または【▼】キーを押して、「IP over 1394」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<IEEE 1394ｾｯﾃｲ>
4.IP over 1394
```

IP over 1394設定画面が表示されます。

5 **【▲】または【▼】キーを押して、「ユウコウ」（有効）か「ムコウ」（無効）かを表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<IP over 1394>
*ﾕｳｺｳ
```

設定が確定し、約２秒後にIEEE1394設定画面に戻ります。

6 **プリンターに割り当てるIPアドレスを設定します。【▲】または【▼】キーを押して、「IPアドレス」を表示させ、【OK】キーを押します。**

```
<IEEE 1394ｾｯﾃｲ>
2.IPｱﾄﾞﾚｽ
```

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

補足

- ネットワーク設定と同じIPアドレス、または同じサブネットにあるIPアドレスを設定しないでください。
- 設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

7 **【▲】または【▼】キーを押して、カーソルのあるフィールドの値を変更します。**

```
<IPｱﾄﾞﾚｽ>
19█.022.033.044
```

補足

- 【▲】または【▼】キーを押し続けると、値が10ずつ増減します。
- 変更の必要がないときは、【OK】キーを押すと、次のフィールドに移動します。
- 011.022.033.044は使用できません。指定しないでください。

8 **【OK】キーを押します。**

フィールドに値が入力され、次のフィールドにカーソルが移動します。

```
<IPｱﾄﾞﾚｽ>
192.02█.033.044
```

9 **同じ操作を繰り返し、すべてのフィールドに値を入力して、【OK】キーを押します。**

一つ前のフィールドに移動するときは、【戻る】キーを押します。

10 IPアドレスの設定と同様の手順で、「サブネットマスク」を設定します。

11 すべての設定が終了したら、【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

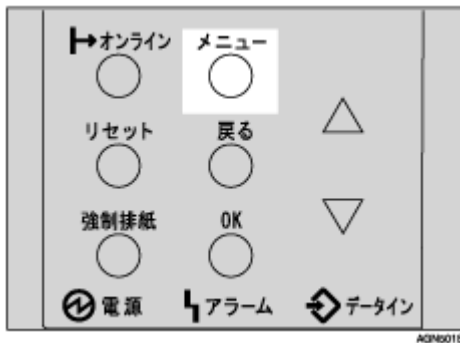
```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

12 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

システム設定リストの印刷方法については、P.27 「テスト印刷する」を参照してください。

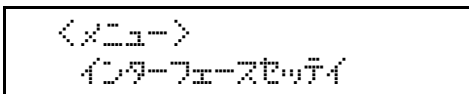
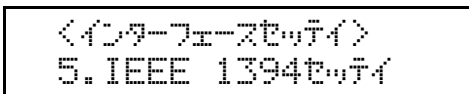
SCSI printの場合

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾒﾆｭｰ>
 ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｾｯﾃｲ
```

3 【▲】または【▼】キーを押して、「IEEE 1394セッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｾｯﾃｲ>
5.IEEE 1394ｾｯﾃｲ
```

IEEE 1394設定画面が表示されます。

4 「SCSI print」と「SCSIprnt ソウホウコウ」を設定します。

工場出荷時の設定は「SCSI print」が「ユウコウ」、「SCSIprnt ソウホウコウ」が「スル」です。

5 【▲】または【▼】キーを押して、「SCSI print」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<IEEE 1394ｾｯﾃｲ>
5.SCSI print
```

6 【▲】または【▼】キーを押して、「ユウコウ」（有効）か「ムコウ」（無効）かを表示させ、【OK】キーを押します。

7 同様の手順で「SCSIprntソウホウコウ」を設定します。

8 すべての設定が終了したら、【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

9 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

システム設定リストの印刷方法については、P.27「テスト印刷する」を参照してください。

付属のCD-ROMについて

付属のCD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」には、プリンターを使用するために必要なプリンタードライバーやユーティリティーなどの各種ソフトウェアが収録されています。プリンターとの接続に応じて、ご使用になるパソコンに必要なソフトウェアをインストールしてください。

重要

- ❒ **付属のCD-ROMの対応OSは、**Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT4.0**です。**

おすすめインストール

Windowsをご使用の場合、付属のCD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」から簡単にソフトウェアをインストールすることができます。

「おすすめインストール」を実行すると、プリンターをネットワーク接続している場合は「RPCSプリンタードライバー」と「Ridoc IO Navi」がインストールされ、TCP/IPポートが設定されます。プリンターをパラレル接続している場合は「RPCSプリンタードライバー」がインストールされ、LPT1ポートが設定されます。

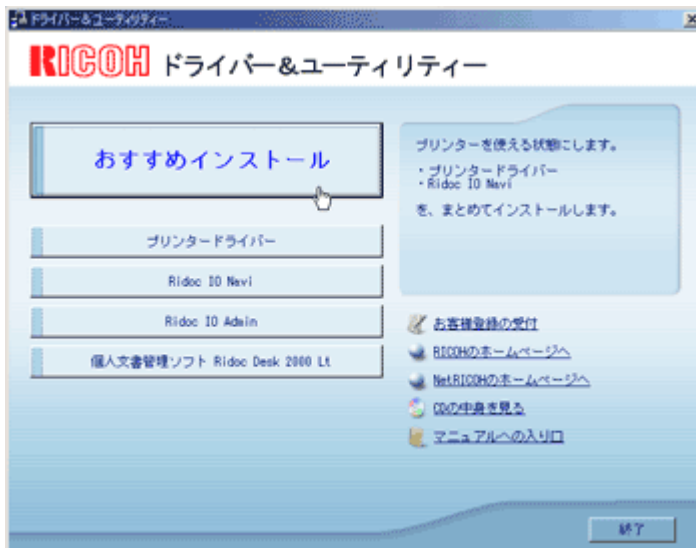
重要

- ❒ ご使用のOSがWindows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の場合、管理者権限が必要です。Administratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ 本機を USB 接続で使用する場合、「おすすめインストール」ではプリンタードライバーをインストールすることができません。USB接続で使用する場合は、<ソフトウェアガイド>「USB接続」を参照してください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 パソコンのCD-ROMドライブに付属のCD-ROMをセットします。

インストーラーが起動します。

3 [おすすめインストール] をクリックします。

[使用許諾] ダイアログが表示されます。

4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [次へ] をクリックします。

5 [モデル名] をクリックし、使用する機種を選択します。

ネットワーク接続の場合、[接続先] にIPアドレスが表示されているプリンターを選択します。パラレル接続の場合、[接続先] にプリンターポートが表示されているプリンターを選択します。

6 ［インストール］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされ、［導入完了］ダイアログが表示されます。インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoftのメッセージが表示されることがあります。その場合は、［はい］または［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

7 ［完了］をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示された場合は、Windowsを再起動してください。

8 最初の画面で［終了］をクリックし、CD-ROMを取り出します。

補足

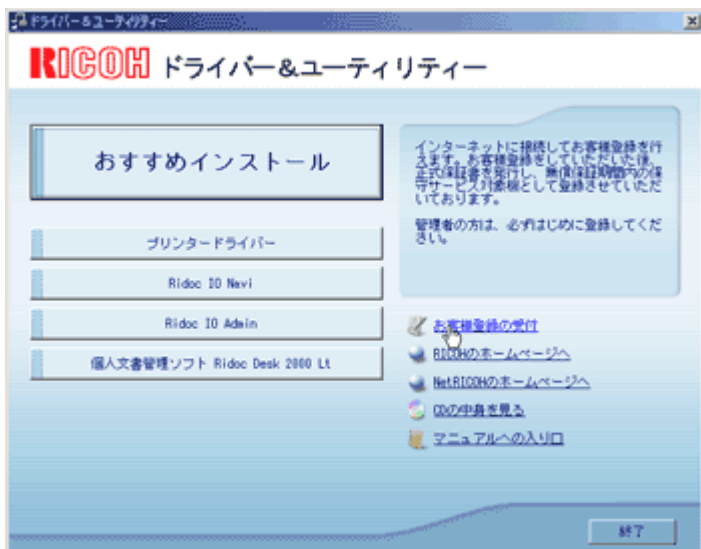
- インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。キャンセルした場合は、再起動後、残りのソフトウェアまたはプリンタードライバーをインストールし直してください。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

参照

パラレル接続で本機とパソコンが双方向通信していない場合、おすすめインストールをすることができません。＜ソフトウェアガイド＞「双方向通信が働かない場合」を参照して、本機とパソコン間の双方向通信を設定してください。

お客様登録

インターネットでお客様登録をすることができます。お客様登録をしていただくことにより、正式保証書を発行し、無償保障期間の保守サービス対象機として登録させていただきます。

1 ［お客様登録の受付］をクリックします。

ご使用のブラウザが起動し、お客様登録のページが表示されます。

2 ページ内の指示に従って登録します。

3 登録終了後、Webブラウザを終了します。

4 最初の画面で［終了］をクリックします。

これでお客様登録は終了です。

補足

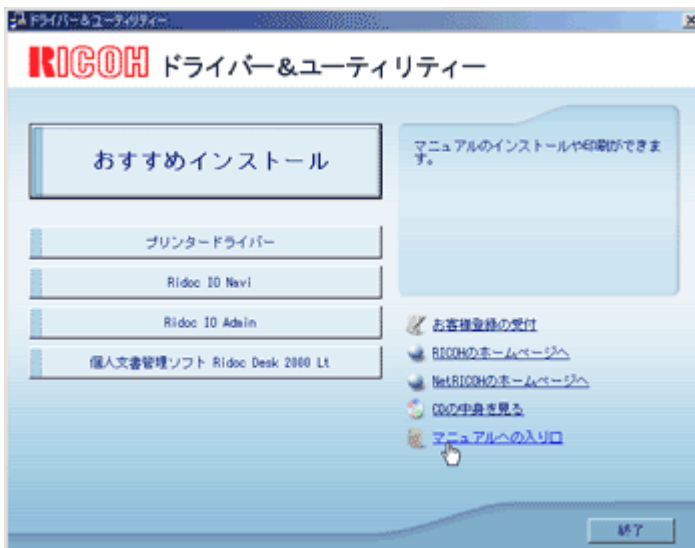
- ❒ インターネットに接続している場合に利用できます。
- ❒ お客様登録はがきをご返送いただきましても、同様の保証内容となります。

使用説明書のインストール

付属のCD-ROMには、HTML形式の使用説明書が収録されています。ご利用になる場合は、使用説明書をインストールしてください。

重要

- ❒ インストールするために必要な条件は以下のとおりです。
  - OSがWindows 95/98/Me、Windows 2000/XP、Windows Server 2003またはWindowsNT4.0である
  - ディスプレイの表示解像度（デスクトップ領域）が800×600ピクセル以上である
- ❒ 推奨ブラウザは以下のとおりです。
  - Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2 以降
  - Netscape 6.2 以降
- ❒ Internet Explorer 3.02以上またはNetscape Navigator 4.05以上をお使いの場合は、バージョンの低いブラウザ向けに簡素化したマニュアルが表示されます。
- ❒ Macintoshをご利用の方でも、HTML形式のマニュアルを開くことができます。

1 ［マニュアルへの入り口］をクリックします。

2 ［マニュアルをインストールする］をクリックします。

3 画面の指示に従ってインストールをします。

4 インストールが完了したら、［終了］をクリックします。

5 最初の画面で［終了］をクリックします。

補足

- ❒ マニュアルは通常用と簡易表示用の２種類を収録しています。使用環境に合わせてお選びください。
- ❒ インストールがうまくできないときは、CD-ROMの「Manual」フォルダをすべてローカルディスクにコピーして、「Setup.exe」を実行します。

- ❒ **インストールした使用説明書を削除する場合は、**Windows**の**[**スタート**]**から**[**プログラム**]**をクリックし、**[**お使いの機種名**]**からアンインストールを実行してください。**
- ❒ **動作対象外の**Web**ブラウザをお使いの場合で､簡素化したマニュアルが自動的に表示されないときは、**CD-ROM**の「**Manual**」**→**「**NX860e**」**→**「**ja**」**→**「（分冊名）」**→**「**unv**」フォルダ内にある、「**index.htm**」を開いてください。**